



交通・観光カーボンオフセット
アイデア事例集
(2012年3月改訂版)

2012年3月

交通エコロジー・モビリティ財団

はじめに

当財団は交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取り組みをやすくし、同業界でのカーボンオフセットの普及を図るため、「交通・観光カーボンオフセット 支援システム」を運用しています。

本冊子「交通・観光カーボンオフセット アイデア事例集」は、支援システムを用いて事業者の方々がカーボンオフセットに取り組む際に、どんな取り組み方がありうるのかを、対象となる業種それぞれについて1～3件の事例で示したものです。さらに、各事例について、導入に際しての留意点等も記載しています。

2011年7月にトラック事業者も対象となったため、今般、これに関連する改訂を行いました。

本冊子が、これからカーボンオフセットに取り組まれる交通・観光事業者の方々のご検討の一助になることを願っています。

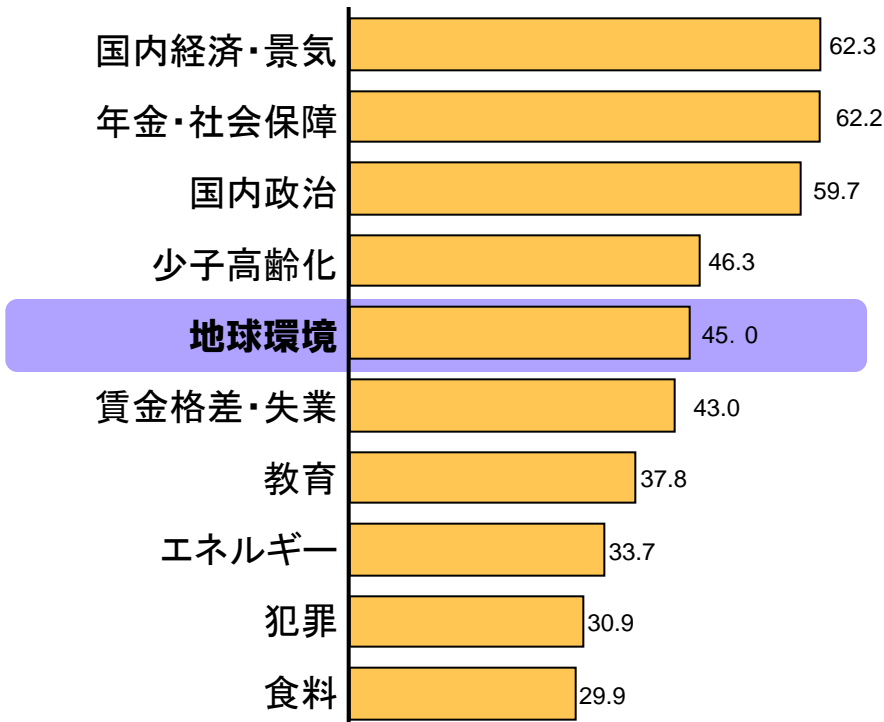
なお、本冊子のPDF版を当財団ホームページ(<http://www.ecomo.or.jp/>)にも掲載していますので、合わせてご活用下さい。

1. カーボンオフセットについて	1
2. 交通・観光分野における取り組み事例	6
3. 交通・観光カーボンオフセット支援システムについて ...	16
4. 業種ごとの取り組みアイデア	22
- 航空	23
- 鉄道	26
- 路線バス	33
- 貸切バス等	39
- タクシー	46
- トラック	52
- 宅配	58
- レンタカー	64
- 旅客船	71
- ホテル	77
- 旅行	83

様々な社会問題や環境問題と比べても関心の高い地球温暖化

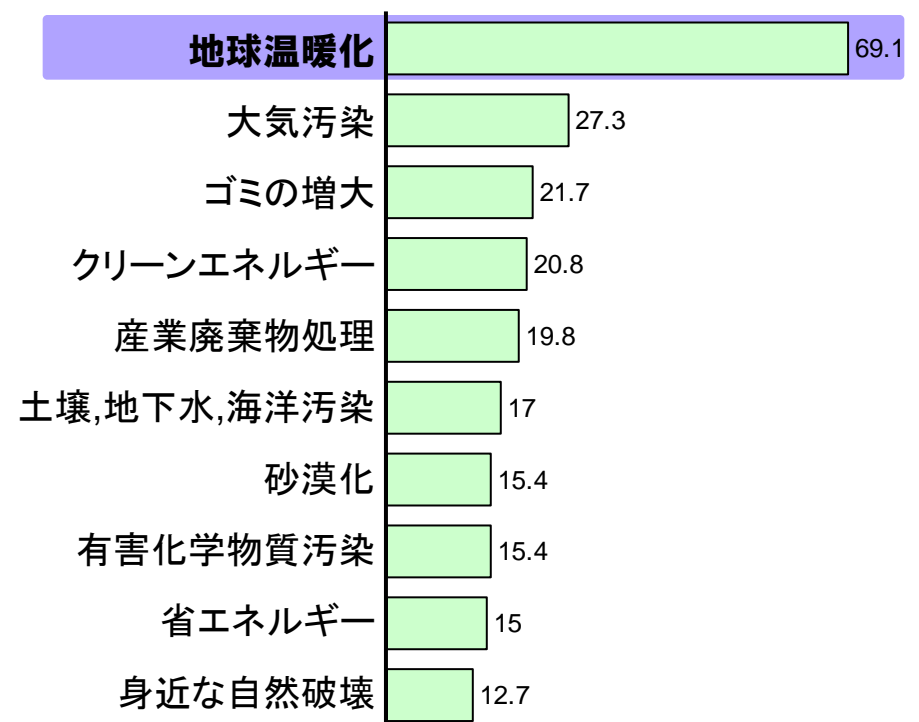
社会問題に関する関心度合い

(%; 10年3月; N=1,021: ネットモニター)



関心がある環境問題の分野

(%; 09年10月; N=42,224: ネットモニター)



関心の高い地球温暖化にフォーカスすることで、対外的により訴求しやすい

カーボンオフセットとは

- 自分の温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)することをいいます

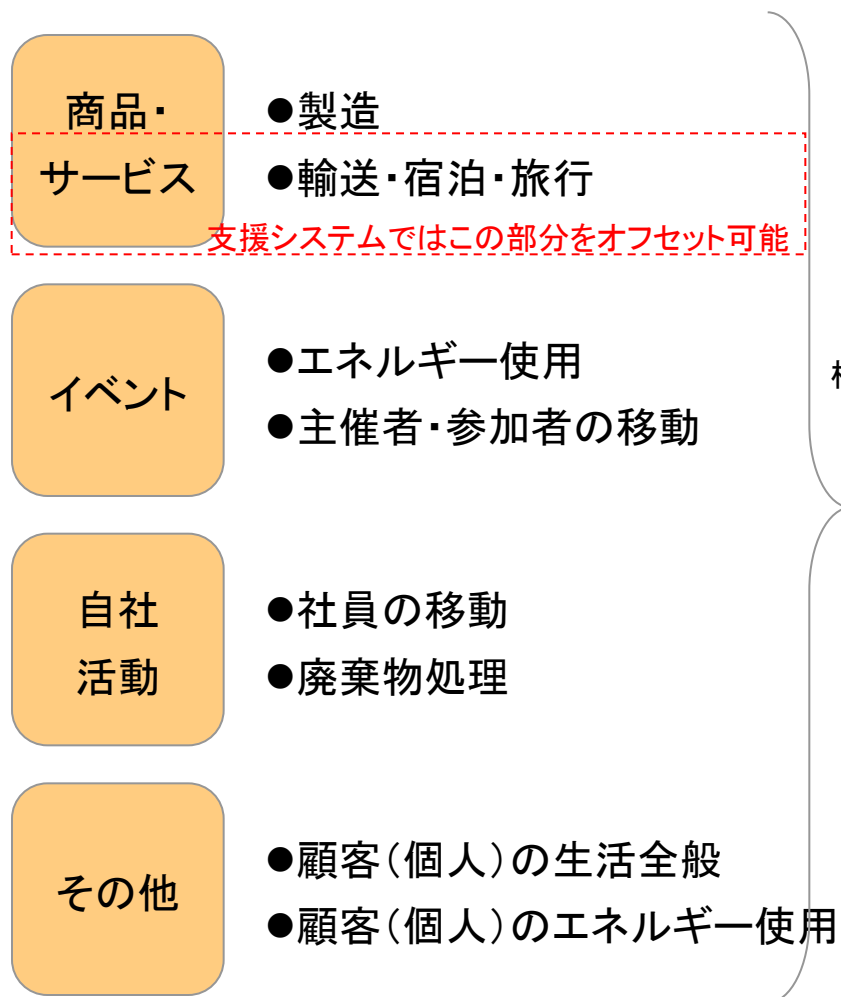


※クレジット＝排出権(温室効果ガスの排出削減・吸収量)

温室効果ガスの排出を削減又は吸収するプロジェクトを通じて生成される排出削減・吸収量の総称。
第三者機関によって認証されているクレジットとそうでないものがある。

カーボンオフセットの対象となる活動と、用いる排出権の例

対象となる活動の例



様々な組合せが可能



排出権の例

海外の
プロジェクトから
生まれる
排出権

CER
CO2削減・吸収プロジェクトは
途上国の再生可能
エネルギー事業等

国内の
プロジェクトから
生まれる
排出権

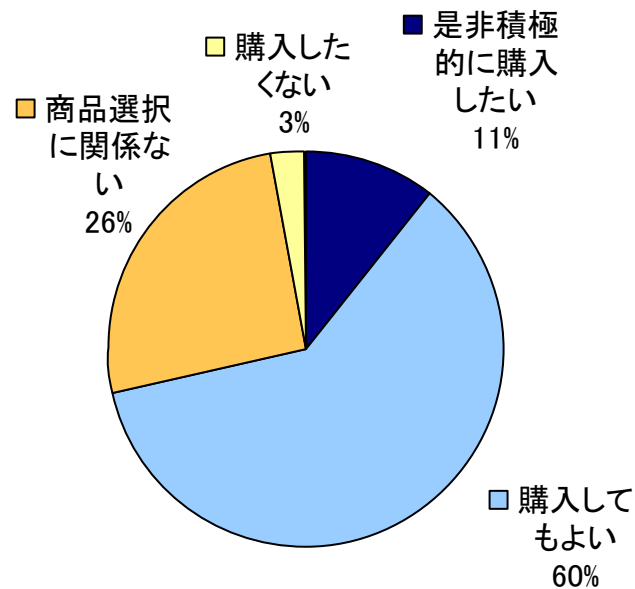
国内クレジット
CO2削減プロジェクトは
国内の省エネ事業等

J-VER
CO2削減・吸収プロジェクトは
国内の森林整備事業等

カーボンオフセット商品の購入意欲と企業への消費者の評価

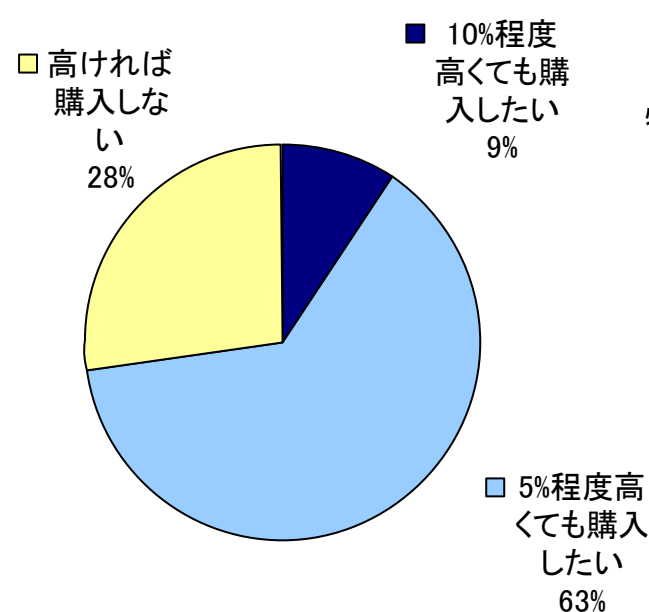
カーボンオフセット商品を購入しますか？

(%; 08年6月; N=554: ネットモニター)



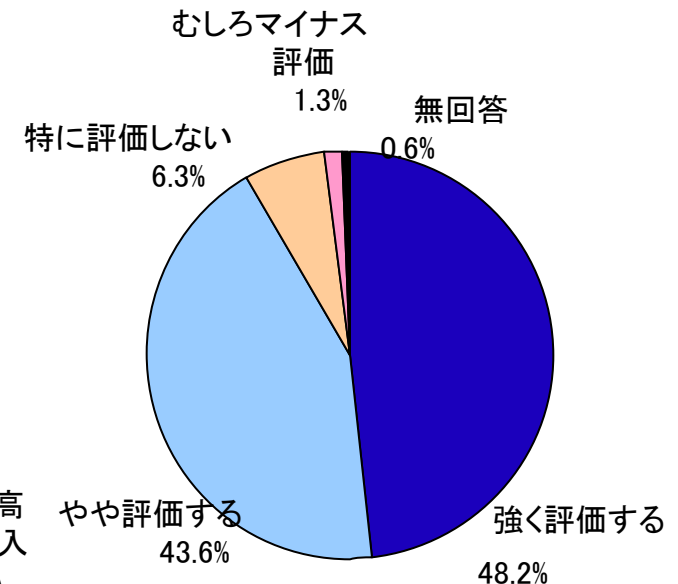
カーボンオフセット商品が価格が高くて購入しますか？

(%; 08年6月; N=396: ネットモニター)



カーボンオフセットに取り組む企業をどう評価しますか？

(%; 08年6月; N=13,867: ネットモニター)



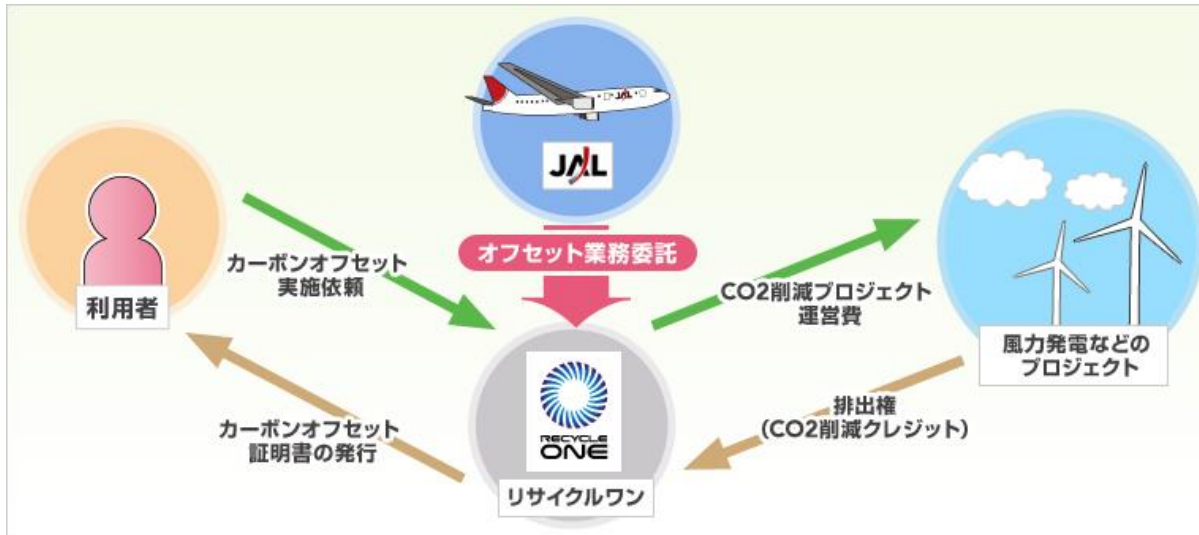
カーボンオフセット商品の排出権購入資金については、商品価格に上乗せする場合と、しない場合がある。あくまでもアンケートだが、一定額であれば、商品価格に上乗せする場合でも、消費者の購買意欲は高い。

ブランド力向上には、ほぼ間違いなくプラス(オフセット商品を購入したいかどうかではなく、評価するかしないかの調査のため)

目次

1. カーボンオフセットについて
2. 交通・観光分野における取り組み事例
3. 交通・観光カーボンオフセット支援システムについて
4. 業種ごとの取り組みアイデア
 - 航空
 - 鉄道
 - 路線バス
 - 貸切バス等
 - タクシー
 - トラック
 - 宅配
 - レンタカー
 - 旅客船
 - ホテル
 - 旅行

航空：JALのカーボンオフセットフライト



(上)WEBで説明しているカーボンオフセットのスキーム図

(右)お客さまごとのCO2排出量、カーボンオフセット費用がわかるコンテンツをWEB上で提供(PCでアクセス可能)

対象活動	お客さまのフライト(国際線・国内線両方対応)で排出されるCO2
対象量の設定	国際基準であるICAO(国際民間航空機関)の算出方法を基に、出発・到着空港、人数、座席種類ごとに算定
排出権種類／プロジェクト種類	CER／インドの風力発電プロジェクト等
オフセット費用負担者／支払い方法	お客さま／PCでWEBサイトにアクセスし、クレジットカードで決済

航空：ANAのカーボンオフセットフライト

ANA NEWS

ANA
第09-130号
2009年8月3日

ANAカーボン・オフセットプログラムを開始します ～あなたのカーボンオフセットが私たちのふるさとニッポンの森を再生します～



ANAグループは、2009年9月10日(木)から羽田発の主要幹線(羽田=千歳、伊丹、福岡、那覇)、10月1日(木)から国内線全便でANAカーボン・オフセットプログラムを導入します。

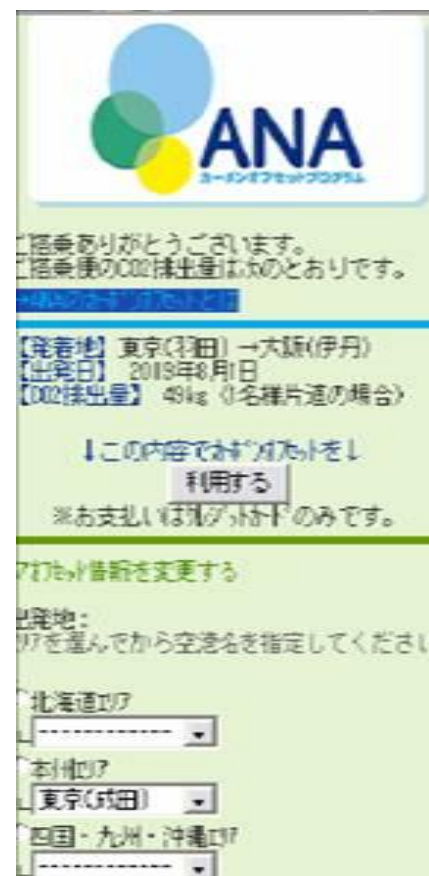
このANAカーボン・オフセットプログラムは、音楽家 坂本龍一さんを発起人とする一般社団法人more trees(代表:坂本龍一、所在地:東京都渋谷区)と提携し、携帯電話によるクレジットカード決済で、飛行機を利用した際に排出される二酸化炭素のうち、お客様ご自身の排出量×1を算出し、お客様ご自身がいつでもどこでも手軽にオフセット(相殺)できるプログラムです。またANAはオフセットクレジットに、森林吸収クレジット(J-VER)×2のみを利用する初めての企業となります。

東西に長く伸びる日本列島。私たちのふるさとニッポンは、空から眺めた時、北海道から九州・沖縄まで多様な気候風土に恵まれた美しい森の国です。そして、その森は温暖化ガスの貴重な吸収源として、環境保全には欠かすことのできない大切な役割を担っています。そのような日本の森から生まれるオフセットクレジット(J-VER)を活用し、森を育てながら地球温暖化防止に貢献し、ニッポンの森を元気にするカーボンオフセットに取り組んでまいります。

また、ANAは、カーボン・オフセット推進ネットワーク(CO-Net)の代表理事を務めており、低炭素社会への取り組みとして民間企業の立場からカーボンオフセットの普及・啓発に取り組んでまいります。

(上)プレスリリースの一部

(右)乗客ごとのCO2排出量、カーボンオフセット費用がわかるコンテンツをWEB上で提供(携帯電話でアクセス可能)



対象活動	乗客のフライト(国内線のみ)で排出されるCO2
対象量の設定	出発・到着空港、人数によって量は変動
排出権種類／プロジェクト種類	J-VER／国内の間伐プロジェクト
オフセット費用負担者／支払い方法	乗客／携帯電話でWEBサイトにアクセスし、クレジットカードで決済

鉄道・バス：小田急グループのカーボンオフセット付周遊券



NEWS RELEASE

第08-15号

2008. 8. 25

日本初！カーボンオフセットを導入した環境配慮型割引周遊券「箱根旧街道・1号線きっぷ」を発売します

—周遊券を利用した箱根観光でのCO₂排出量が実質的にゼロになります—

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：大須賀 頼彦）では、箱根旧街道や国道1号線周辺の散策・観光に便利で、周遊券では日本で初めてカーボンオフセットを導入した「箱根旧街道・1号線きっぷ」を2008年9月1日（月）から発売します（ご利用は10月1日から）。

）

また、この周遊券には、地球温暖化対策の一環として、日本で初めてカーボンオフセットを導入します。これは、有限責任中間法人日本カーボンオフセットの提供するオフセットサービスを活用したもので、この周遊券を利用する際に、鉄道・バスが排出すると想定されるCO₂すべてを打ち消す（オフセット）ための費用を、当社、箱根登山鉄道株式会社、箱根登山バス株式会社の3社が負担することで、お客さまが移動する際に発生するCO₂の排出を実質的にゼロにするものです。今回活用するオフセットサービスでは、世界各地で行われた温室効果ガス削減プロジェクト（途上国における自然エネルギー発電事業など）により削減されたCO₂による排出権を使用しています。なお、この排出権は、国連の認証を受けたもので、日本政府に無償で譲渡され、京都議定書の目標達成にも活用されます。



（左）プレスリリース

（右）カーボンオフセット付周遊券で回れるコース

対象活動	乗客の電車・バスによる周遊で排出されるCO ₂
対象量の設定	周遊券1枚あたり、推計値である5.4kgCO ₂ で固定
排出権種類／プロジェクト種類	CER／非公開
オフセット費用負担者／支払い方法	事業者が全て負担

路線バス:神奈川中央交通のカーボンオフセット定期券

NEWS
RELEASE



平成21年3月24日

環境に優しく、経済的なバス通勤定期券「グリーンエコパス」を発売

平成21年3月25日(水)より

記

1. 乗車券名称 グリーンエコパス
2. 発売開始日 平成21年3月25日(水)
3. 利用開始日 平成21年4月1日(水)
4. 発売条件
 - ①グリーンエコパスの趣旨に賛同いただき、企業・自治体等の皆様に一括購入(5名以上)していただきます。
 - ②グリーンエコパスは6ヶ月定期券といたします。
 - ③購入後の解約・払い戻しは原則としてできません。(転勤・住所変更・退職等の場合は払い戻しいたします。)

記

カーボンオフセット付き
グリーン **エコパス** 発売中

神奈中バスでは、企業等法人の皆様向けに、『グリーンエコパス』を発売しています。
「環境(エコロジー)」に優しく、「経済的(エコノミカル)」な、通勤定期券『グリーンエコパス』を是非ご利用ください。

環境への配慮

マイカー通勤の減少によるCO2排出量の削減
カーボンオフセットによるCO2削減事業への貢献

経費の節減

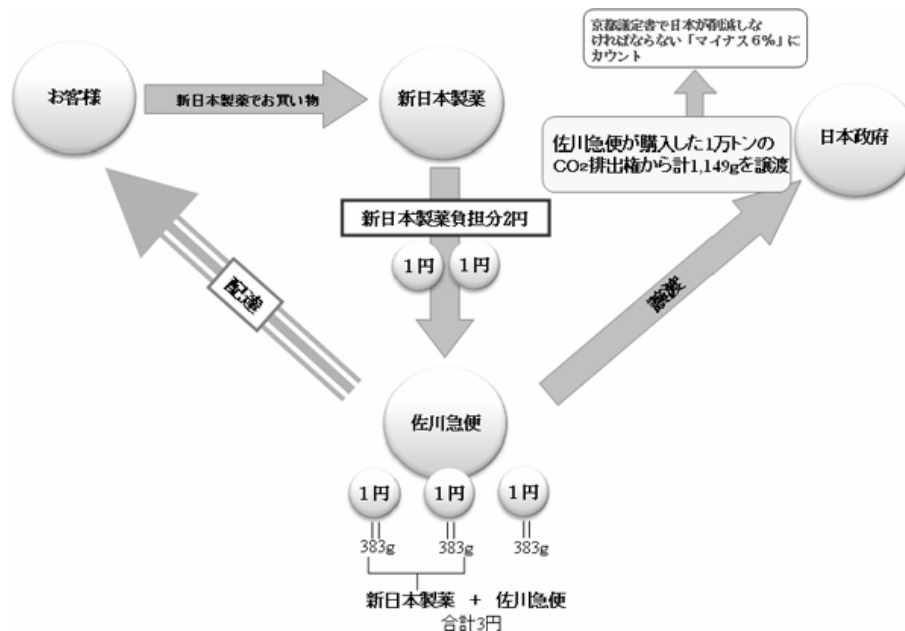
通常の通勤定期券よりも高い割引率
6ヶ月定期券なので、支給は年2回

eco

神奈川中央交通株式会社

対象活動	定期券購入者の通勤乗車により排出されるCO2
対象量の設定	区間距離別のCO2排出量の75% 210円区間の場合は、82.8kgCO2/人・6ヶ月
排出権種類/プロジェクト種類	CER/韓国の風力発電プロジェクト
オフセット費用負担者/支払い方法	事業者が全て負担

宅配：佐川急便の通販事業者向けカーボンオフセットサービス



(左)千趣会「ベルメゾンネット」での紹介WEBページ (右)新日本製薬との取り組みのプレスリリースにおけるスキーム図

対象活動	宅配便の輸送で排出されるCO2
対象量の設定	佐川急便のCO2総排出量を宅配便取り扱い個数で按分 宅配便1個につき一律
排出権種類／プロジェクト種類	CER／インドの風力発電プロジェクト
オフセット費用負担者／支払い方法	佐川急便・通販事業者(・消費者)で共同負担(宅配注文と同時決済)

ホテル:スーパーホテルのカーボンオフセット付宿泊



(左) キャンペーン紹介ページでの案内図

報道発表資料

Press Release

[この記事印刷する](#)

平成22年7月26日

カーボン・オフセット認証制度における認証案件について(お知らせ)

- ・ 環境省では、信頼性のあるカーボン・オフセットの取組を推進・普及するため、平成21年3月18日に「カーボン・オフセットの取組に対する第三者認証機関による認証基準(Ver.1.0)」(以下「認証基準」という。)を公表しました。
- ・ 同認証基準を受け、気候変動対策認証センター(事務局:社団法人海外環境協力センター)において、カーボン・オフセット認証制度が開始されました。
- ・ また制度開始後の運用を踏まえて、平成22年4月に認証基準の改定を行いました。
- ・ 平成22年7月13日のカーボン・オフセット認証委員会の審議を経て、下記申請案件が認証され、認証ラベルの使用が認められましたので、お知らせします。

認証案件の概要

申請者名	案件名	認証区分	案件の概要
株式会社カウネット	カウネットカタログギフト(第20号カタログ/別冊家具カタログ第8号・ウイズカウネット2010年秋冬号カタログ/別冊家具カタログ)の取組	1-1(商品・サービス)	事業所向けオフィス用品等の通信販売及びオフィスに関わる各種サービス提供用カタログ(無償配布)を印刷・製本・配送する際に排出するCO ₂ 排出量をカーボン・オフセットする。
株式会社スーパーホテル	自社HP予約のお客様におけるカーボン・オフセット(名称エコ泊)	1-1(商品・サービス)	スーパーホテルにおける、1室当たりの電気・ガス・水道使用に係わるCO ₂ 排出量を算定し、宿泊客参加型の排出量削減活動を実施するとともに、スーパーホテルに自社HP予約して頂いたお客様を対象に1室当たりのCO ₂ 排出量6.3kgの25%(1.59kg)をカーボン・オフセットする。

※第三者認証機関による認証制度について

信頼性の高いカーボン・オフセットの取組を普及させることを目的として、環境省が策定した認証基準等に則った適切な取組に対して、気候変動対策認証センター(事務局:社団法人海外環境協力センター)が第三者認証を実施するとともに、認証された取組に対してラベリングを実施する制度です。

(右)カーボン・オフセット認証制度における認証を取得

対象活動	宿泊により排出されるCO ₂
対象量の設定	ホームページ予約をした場合、1泊6.3kgCO ₂ の25%分をオフセット
排出権種類／プロジェクト種類	CER／小規模水力発電所による再生可能エネルギー発電
オフセット費用負担者／支払い方法	ホテル負担

旅行：近畿日本ツーリストの団体旅行向けカーボンオフセットサービス

広報No. 21

平成20年4月10日

初の国連認定排出権による「カーボンオフセット」事業
教育旅行団体へのサービス提供を開始！

近畿日本ツーリスト株式会社(本社：東京都千代田区、社長：吉川勝久、以下、KNT)は、京都議定書に則った、初の国連認定の排出権の購入による「カーボンオフセット」(*1)を、2008年5月以降から教育旅行の団体へ提供する事業を開始いたします。

これは、これまでKNTが長年取り組んできた教育旅行における「環境学習旅行」にカーボンオフセットの仕組みを新たに導入するものです。環境コンサルティング企業の株式会社リサイクルワン(本社：東京都渋谷区 代表取締役 木南 陽介、以下、リサイクルワン)と業務提携を行い、「旅行中に発生するCO2削減を“グローバルスタンダード”で実践する新サービス」の提供をはじめること、「環境学習旅行」の更なる意義向上をめざします。

【環境をとりまく現状】

昨今の二酸化炭素(CO2)排出量削減という環境意識の高まりや、京都議定書で定められた第一段階の目標期間である2008年から2012年までの「第一約束期間」のはじまりに合わせて、地球温暖化対策推進法(温対法)が強化され、さまざまな業界で削減目標達成に向けての動きが活発化しております。

KNTではこうした現状に対応し、カーボンオフセット事業への取り組みを開始することにいたしました。

対象活動	団体旅行の移動・宿泊で発生するCO2
対象量の設定	人数・移動手段・移動距離等により変動
排出権種類／プロジェクト種類	CER／ブラジルの水力発電プロジェクト・韓国の風力発電プロジェクト
オフセット費用負担者／支払い方法	顧客負担／旅費と同時決済

ケーススタディ - アウディの取り組み

プログラム名: アウディカーボンオフセット



Audi Financial Services

CUSTOMER COMES FIRST

Audi



【取り組み】

- 1TonのCO2排出量(お客様の年間走行距離に仮定すると、約1年分)を、お客様の費用負担無しで付帯

【導入実績効果】

- 2010年7月現在、アウディ(新車)の全モデルが対象。
- 累計20,000トン以上のCO2をオフセット。
- アウディの優れた環境性能と、カーボンオフセットでハードとソフトの両面で環境訴求のブランディング。
- カーボンオフセットに対してお客様から評価をいただいています。

アウディ ファイナンシャル サービス

Vorsprung durch Technik



カーボンオフセットを導入したきっかけは？

新聞に掲載されていたある会社のカーボンオフセット付き旅行の記事にヒントを得ました。カーボンオフセットで差別化が図れ、付加価値がつけられる点に魅力を感じました。そこで、初めての試みとしてファイナンス商品へ付与し、社会貢献を実現することが出来ました。

導入までに課題はあったのでしょうか？

社内では当初その仕組みをなかなか理解してもらえず、検討に時間がかかってしまいましたが、外部の方を招いてその意義や事例を学ぶことで、社内での理解を浸透させることができました。

なぜ導入車種が増え、他のオフセットイベントなどに波及したのですか？

カーボンオフセットという「CO2削減の新しい考え方」はアウディらしい「先進性」を表現できているからだと思います。また、対象車種を拡大しアウディの取り組みとしてPRすることで、お客様やセールススタッフへの認知も上がり、お客様からの評価を得られたからだと思います。

これからの取り組みは？

カーボンオフセットそのものをもっと身近に感じられ、アウディの環境への取り組みをお客様に実感していただけるようなプログラムやキャンペーンを検討していきたいと考えています。

Carbon Offset

CO2を削減する新しい考え方

ステッカー



カーボンオフセット証明書



Audi MUSIC meets ART2009 イベントの来場者の車走行分をオフセット

カーボンオフセット企画のポイント

オフセット導入の目的

対外(顧客等)

- ・色々とところで取り上げられたい
- ・商品を訴求・差別化したい
- ・顧客を囲い込みたい
- ・企業ブランドを向上したい

対社内

- ・営業に自信をつけたい
- ・営業訪問の話題のひとつとして使いたい
- ・営業トークの幅を広げたい
- ・社内への環境意識付けのきっかけにしたい

目的を達成するためのポイント

- ✓ **新しい取り組み/業界初**
→単純なオフセットをするだけではなく、オフセットも含めたサービス全体で新しい取り組みを
- ✓ **顧客の罪悪感の緩和**
→オフセットした量の見える化(証明書など)
→オフセットした量の換算(木何本分など)
- ✓ **手軽・身近な取り組み**
→オフセット料金支払いの簡易さ
- ✓ **本格的な取り組み**
→オプションやキャンペーンではなく、主力商品・サービスに
- ✓ **弱点の克服/長所の強調**
→例えば、レンタカーでスポーツカーにオフセット(弱点克服)
→例えば、レンタカーでハイブリッドカーにオフセット(長所強調)
- ✓ **内部展開の強化**
→顧客と接点を持つ従業員へきちんとした研修を

目次

1. カーボンオフセットについて
2. 交通・観光分野における取り組み事例
3. 交通・観光カーボンオフセット支援システムについて
4. 業種ごとの取り組みアイデア
 - 航空
 - 鉄道
 - 路線バス
 - 貸切バス等
 - タクシー
 - トラック
 - 宅配
 - レンタカー
 - 旅客船
 - ホテル
 - 旅行

交通・観光カーボンオフセット支援システムの概要

ねらい

- ・交通・観光関係事業者によるカーボンオフセットの取り組みをやすくし、同業界でのカーボンオフセットの普及を図る。

対象業種

- ・航空、鉄道、バス、タクシー、トラック、宅配、レンタカー、旅客船、旅行、ホテル

運営体制

・運営主体(エコモ財団)

- 支援システムの設計・見直し
- 支援システムの運用(利用申請受付・審査、その後の審査等)
- WEBシステムの運用メンテナンス
- 普及推進活動

・運営委員会

- 支援システムの運用方法に関わる基本事項の決定及び改訂の承認など
- 学識経験者、専門家、業界団体代表数名、国土交通省により構成

・カーボンオフセットプロバイダー

- 排出権の調達および無効化
- 運営主体から業務受託(アンダーラインの項目)

交通・観光カーボンオフセット支援システムの特徴

CO2排出量の算定が簡単

- ・WEB上に業種別の算定ページを用意しています。

排出権の購入が容易

- ・WEBを通じて排出権を事前購入できます。
- ・**最小購入金額は1万円**で、千円単位となります。
- ・購入した排出権を用いた**個々のオフセット実施はkg単位で可能**です。

低コスト

- ・**年間利用料は1万円**。
- ・システム全体の取扱量増加につれ、排出権単価も割安になります。

利用客への適切な情報提供を支援

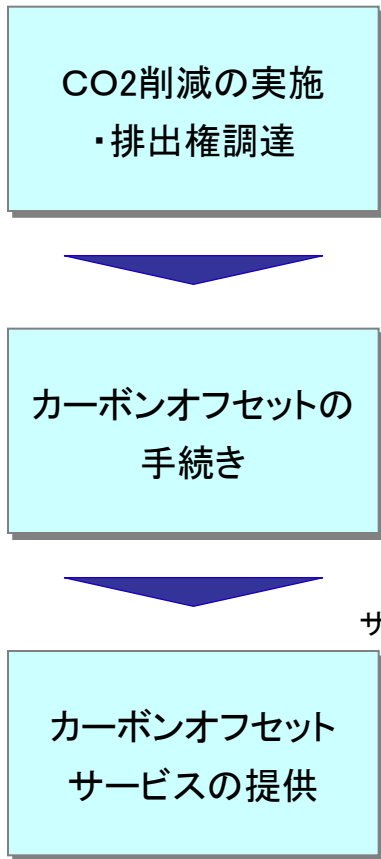
- ・事業者が利用客に対して行う情報提供の規定を設けています。
- ・WEB・チラシでの情報提供例を業種別に提示しています。
- ・カーボンオフセット証明書がWEBで発行されます。

透明な運営

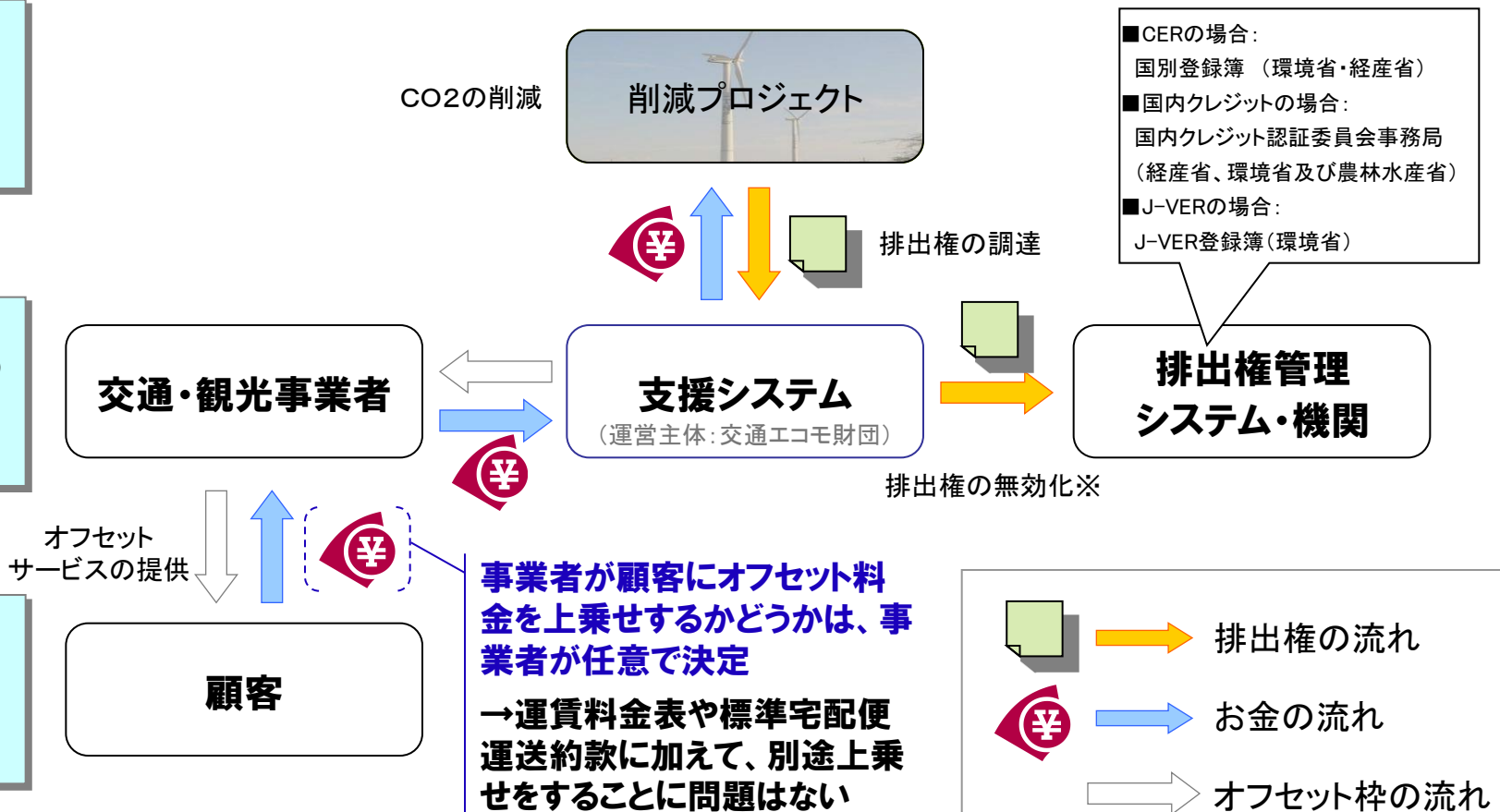
- ・学識経験者、業界団体、国土交通省等からなる運営委員会を設置し、主要事項について承認・助言を得ます。

交通・観光カーボンオフセット支援システムを利用したカーボンオフセットの仕組み

時間の流れ



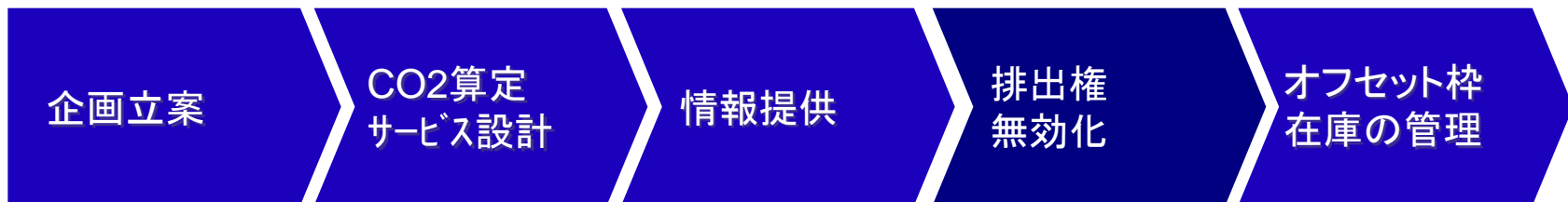
カーボンオフセットの仕組み



※ 無効化とは、排出権をカーボンオフセットへ利用するための申請を指します。無効化とは、言い換えれば排出権の権利の価値をゼロにすることです。この「無効化」を行うことで、「無効化」した排出権量に応じたCO2量が世の中から削減された、ということになります。

カーボンオフセット導入の流れと支援システムのサポート範囲

通常の導入に
必要な作業



CO2対象範囲・算定・オフセット量・
オフセット料金徴収方法の設定

※オフセット枠＝無効化した排出権

支援システムでは・・・

カーボンオフセット支援システム	WEB外	事例集の提供 企画案から、その企画を導入する際の留意点まで本書にて記載しています	雛型の提供 WEB、営業資料、独自証明書など雛型を提供しています	
	WEB	WEBで計算 原単位を登録するだけでWEB上でCO2排出量を計算出来ます。	証明書の提供 オフセット枠を購入、利用(報告)した時、オフセット証明書がWEBで発行されます。	WEBで購入 WEBから無効化した排出権(オフセット枠)を購入出来ます。請求書もWEB発行です。

導入までの作業をトータルで支援することにより、簡単、容易、低コストを実現しています

支援システムを利用したカーボンオフセットの主な事例

業種	事業者名	本社	従業員数	概要	オフセット費用負担者	使用排出権
複合モード	東京都交通局	東京	6,149	都営交通100周年事業の一環として、都営交通1日乗車券にオフセットサービスを付加し、100周年記念乗車券として発売	事業者	CER (インドの風力発電プロジェクト)
鉄道	東急電鉄(株)	東京	4,158	「東急お台場パス」にカーボン・オフセットを組み合わせた乗車券をエコプロダクツ2011初日から1カ月間、販売	事業者	J-VER (釜石地方森林組合による温室効果ガス吸収事業)
路線バス	しすてっ ジャストライン (株)	静岡市	798	CO2を吸収する森林育成への募金活動を実施:バス利用に伴うCO2排出情報を利用客に提供し、森林育成プロジェクトからの排出権を用いたカーボンオフセットへの参加を呼びかけるもの。窓口募金箱を設置。	利用客	J-VER (宮崎での持続可能な森林経営促進型プロジェクト)
タクシー	(株)ハロー・トーキョー	東京	285	カーボンオフセット付空港定額送迎プラン:東京都心部・空港(成田/羽田)間の「定額料金輸送」送迎に、カーボンオフセット付料金プランを導入するもの。ネット予約利用者が任意に選択可能。	利用客	J-VER (宮崎での持続可能な森林経営促進型プロジェクト)
トラック	(有)アール・ティ・エス	高知市	33	トラック輸送に伴って1年間に排出されるCO2の2割を、自社負担で排出権を購入することによって埋め合わせるカーボンオフセットを実施。	事業者	国内クレジット (帯広空港ターミナルビルにおける省エネ事業)
旅行	ダイキン福祉サービス(株)	大阪市	380	ダイキン工業の販売代理店を対象とした販売促進インセンティブ旅行、職場の親睦会の旅行、社外団体客向けの受注型企画旅行などで導入。	事業者/ 利用客	CER (フィリピンの風力発電プロジェクト他)

目次

1. **カーボンオフセットについて**
2. **交通・観光分野における取り組み事例**
3. **交通・観光カーボンオフセット支援システムについて**
4. **業種ごとの取り組みアイデア**
 - **航空**
 - **鉄道**
 - **路線バス**
 - **貸切バス等**
 - **タクシー**
 - **トラック**
 - **宅配**
 - **レンタカー**
 - **旅客船**
 - **ホテル**
 - **旅行**

WEBでフライトオフセット

コーポレートサイト

羽田 ▼ to 札幌 ▼

CO2排出量は、96kg
→オフセット料金480円

オフセットする

クレジットカードなどでオフセットを購入

【オフセット対象】

フライト

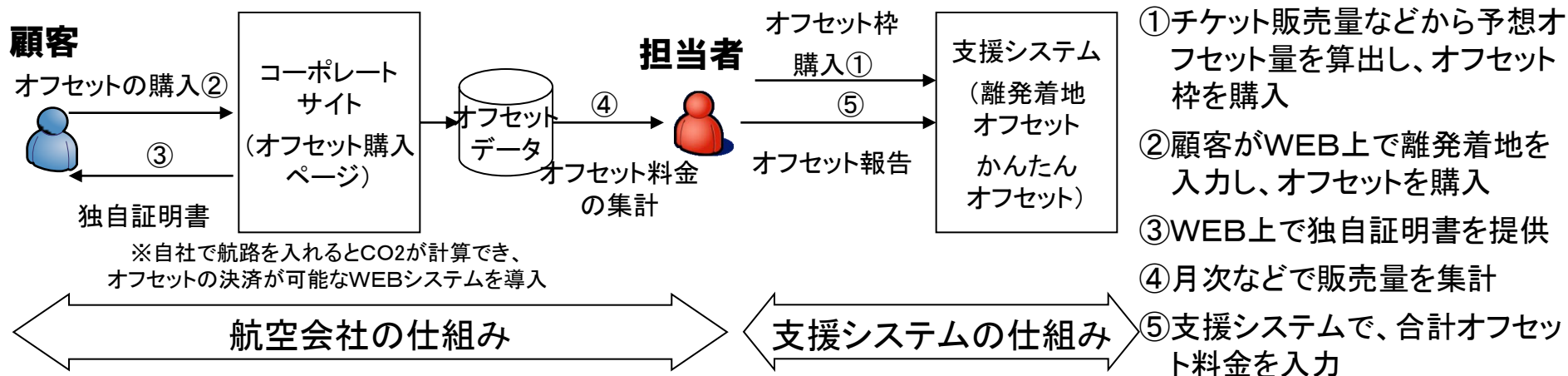
【取り組み概要】

コーポレートサイトなどに、CO2を特定路線別に表示出来る仕組みを用意(特定路線だけなどでも可)、また、WEBからオフセットを購入出来る仕組みを用意

特徴	● 希望する顧客がWEBでチケットを購入するついでにオフセットが出来る
狙い	マーケティング(新規顧客) マーケティング(囲い込み) CSR
オフセット量(概算値)	羽田～札幌で96kg程度(支援システムでの計算)
支援システム オフセット方法	離発着地オフセット(算定に利用) かんたんオフセット(報告に利用)

希望する個人がオフセット出来る仕組みを用意することでCSR効果を狙う

仕組み概要



導入に際する留意点 - 効果を上げるために

サービス 内容に関して

- ・ 航空会社の場合は、オフセット量が大きくなることもあり、基本的には顧客へ課金する形態となることが想定される。顧客へ課金する場合は、独自証明書を発行し、オフセットサービスを見える化することを推奨する。
- ・ また、オフセットの実施量が一定量を超えると、ノベルティを付与する等他の施策と組み合わせで実施することで認知、顧客満足度が促進される。
- ・ 可能であれば、チケット予約時にCO2量が記載され、チケット予約と同時にオフセットも決済可能なシステムを構築すると使いやすさが向上する。

プロモーション 方法に関して

- ・ WEBへの誘導をいかに行うかがポイントである。WEBでのチケット購入完了画面へオフセットページへのリンクを貼るなど、積極的にオフセット購入ページへの流入を図る。
- ・ また、携帯サイトを作成しQRコードなどでの誘導などを実施した方が良い。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・フライトにより排出するCO2を対象範囲とする。

算定

- ・カーボンオフセット専用WEBサイトを自社にて構築する。そのサイトへは、空港を入力するとCO2が表示される機能を実装する。
- ・支援システムの“離発着地オフセット”を用いて、自社の航路それぞれで排出されるCO2量を確認。そのCO2量を自社のオフセットサイト構築の際に適用する。

オフセット量設定

- ・顧客へ課金する形が基本だと想定されるため、オフセットの量は、フライトにより排出するCO2の、“全て”“半分”など、複数の選択肢があった方が良い。

料金徴収方法

- ・オフセット購入サイト(WEB)を自社にて構築する。そのサイトへは、オフセットの決済が出来る機能を搭載する。
- ・オフセット料金は支援システムから既に購入したオフセット枠の単価×上記算定結果で設定する。
- ・端数が発生した場合は切り上げで処理を行う。
- ・WEB決済となるため、最低でもクレジットカードで支払える仕組みが必要。

情報提供

- ・WEBにおけるサービス提供のため、情報提供は基本全てWEBにて行うことが望ましい。

運営

- ・オフセット報告は月次などで“かんたんオフセット”にて、オフセット料金総額を入力することで報告する。

カーボンオフセット回数券

回数券



11枚 1,600円

オフセット
回数券



乗車によるCO2排出が
オフセットされた回数券
です。

11枚 1,610円

【オフセット対象】

乗車

【取り組み概要】

通常の数券と、オフセットされた回数券を用意。回数券を入れる袋だけ変更することで商品を提供。

特徴

- 外袋だけ用意することで手軽にサービスを提供
- 区間毎にCO2量は算出する必要がある

狙い

マーケティング (新規顧客) マーケティング (囲い込み) CSR

オフセット量
(概算値)

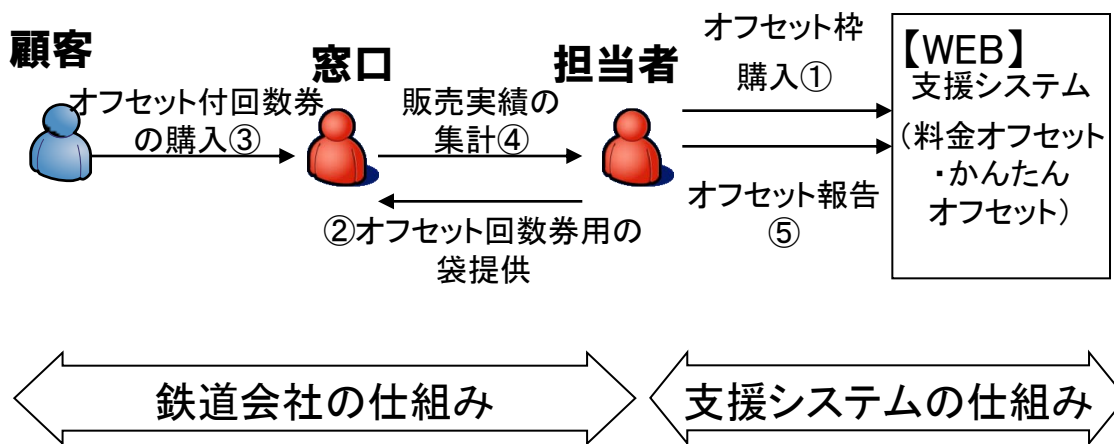
東京-新宿(10.3km)で、0.3kg/枚程度
(カーボン・オフセットの対象活動から生じるGHG排出量の算定方法ガイドライン ver1.1)

支援システム
オフセット方法

料金オフセット(算定・報告に利用)
かんたんオフセット(報告に利用可)

身近なことから取り組みたい利用者へ、手軽な温暖化対策を提供

仕組み概要



- ①回数券の販売量などから予想オフセット量を算出し、オフセット枠を購入
- ②オフセット回数券用の袋を別途製造し窓口へ配布
- ③オフセット付回数券を希望するお客さまへは専用の袋で回数券を提供
- ④月次などで販売実績を集計
- ⑤支援システムで、合計オフセット料金を入力

導入に際する留意点 - 効果を上げるために

サービス 内容に関して

- ・ 通常の回数券とは別口での販売を想定しているため、オフセット回数券はオフセット費用分だけ通常回数券の料金に上乗せして販売する。
- ・ また、オフセット回数券の袋を何枚か集めると、ノベルティを付与する等他の企画と組み合わせで実施することで認知、顧客満足度が促進される。

プロモーション 方法に関して

- ・ オフセット回数券用の袋において、取り組みを見える化する、また、通常の回数券と差別化を図る方が良い。
- ・ 記載しきれない場合は、専用の携帯サイトを作成し、袋にQRコードを記載すると手軽に情報提供が出来、自社の携帯サイトなどへの流入も図れる。
- ・ オフセットを切り口とし、ポスターなどで効果的に電車の環境への有効性などを伝えられるようなプロモーションを実施する。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ 電車の乗車により排出するCO2を対象範囲とする。

- ・ 支援システムの“料金オフセット”を用いて算定を実施する。通常の回数券の定価を入力し、それぞれで排出されるCO2量を確認する。

算定

- ・ オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、半分や25%などでも良い。

オフセット量設定

- ・ 窓口にて、オフセット付回数券全体で料金を徴収する。

- ・ オフセット料金は支援システムから既に購入したオフセット枠の単価×上記算定結果で設定する。

- ・ 回数券当たりのオフセット料金が端数になった場合は切り上げを行う。

- ・ 切り上げを行った場合、“かんたんオフセット”を利用する報告では頂いたオフセット料金全てをオフセットに充てるため信頼性に問題はない。

- ・ “料金オフセット”で報告する場合は、四捨五入の関係により、頂いたオフセット料金より低い金額がオフセットに廻されるため、そのことを事前に顧客へ通知することが必要(一部は事務手数料に利用します等)。

料金徴収方法

- ・ 回数券の袋を独自証明書のような形で利用することが望ましい。但し、具体的な排出権のシリアルIDを記載することは業務的に不可能なため、何kg分のオフセットが付与されている等最低限の情報提供を実施する。

情報提供

- ・ 上記以外の情報については、ポスターやWEBにて情報提供を行う。可能であれば携帯コンテンツも作成し、袋などからQRで誘導することでより信頼性の高い取り組みとなる。

運営

- ・ 業務を効率化するために、オフセット報告は月次などでまとめて一括で報告することが望ましい。

- ・ オフセット報告では、オフセット付回数券販売数量×通常回数券定価のデータを月次などで取得し、“料金オフセット”にて入力する。もしくは、オフセット料金の総額を、“かんたんオフセット”にて入力する。

<参考> 携帯ページでの情報提供例

オフセット回数券



乗車によるCO2排出が
オフセットされた回数券
です。



携帯

XX鉄道

オフセット回数券の取り組み

■ **カーボンオフセットとは**
カーボンオフセットとは、自分の温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)することをいいます。

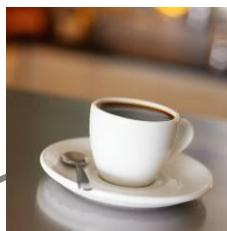
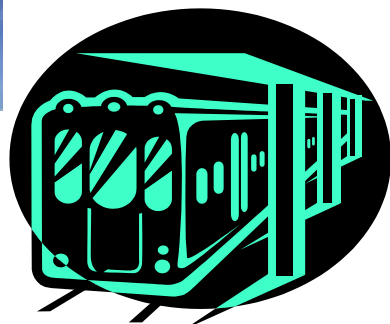
■ **オフセット回数券とは**
回数券を利用して乗車した際に、電車の運行により排出するCO2をオフセットした、環境にやさしい回数券です。

■ **CO2の算定方法とオフセット量**
CO2の算定は、カーボン・オフセットの対象活動から生じるGHG排出量の算定方法ガイドラインver1.1による消費電力人・km原単位に、自社の1円当たり走行人・kmと電力排出係数を乗じて、1円当たりCO2排出量を算出しています。回数券の料金に1円当たりCO2排出量を乗じることで回数券あたりのCO2量を算定しています。

■ **排出権について**
国連認証排出権であるCERのインド水力発電(国連認証番号0244)を利用しています。無効化を既に実施しており、方法は償却で行っています。

周遊きっぷオフセット

周遊きっぷ



エコに回ろう、東京の休日

【オフセット対象】

乗車

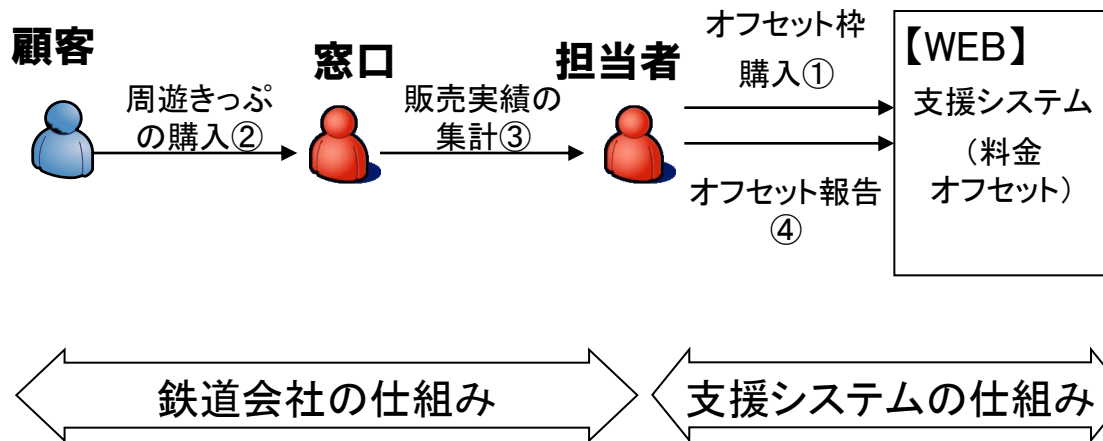
【取り組み概要】

周遊きっぷなどのイベント切符にオフセットを付与。周遊きっぷの効果的なプロモーションのツールとして利用。

特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● 費用は事業者負担 ● 周遊をエコにするだけでなく、周遊きっぷの周知へ利用
狙い	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">マーケティング (新規顧客)</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">マーケティング (囲い込み)</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">CSR</div> </div>
オフセット量 (概算値)	1日50km乗車として、1kg前後 (カーボン・オフセットの対象活動から生じるGHG排出量の算定方法ガイドライン ver1.1)
支援システム オフセット方法	料金オフセット(算定・報告に利用)

周遊をエコでアピールすることにより、今までと違う切り口で集客が可能

仕組み概要



- ① 周遊きっぷ販売量などから予想オフセット量を算出し、オフセット枠を購入
- ② 周遊きっぷの購入
- ③ 周遊きっぷの販売実績を集計
- ④ 月次や、キャンペーン終了時などで、支援システムに、周遊きっぷ販売合計金額を入力

導入に際する留意点 - 効果を上げるために

サービス 内容に関して

- ・ キャンペーンや、周遊きっぷの販促が目的のため、オフセット費用は事業者が負担することが望ましい。
- ・ 安い、手軽、しかもエコという切り口のきっぷとして販売する。
- ・ 電車とバスの共通きっぷなどをオフセットするサービス(複数モード)にも支援システムは対応可能。

プロモーション 方法に関して

- ・ 周遊きっぷ販売時に、チラシやマップなどを同時に配り、そのチラシ上で情報提供を実施する。
- ・ オフセットを切り口とし、ポスターなどで効果的に電車の環境への有効性などを伝えられるようなプロモーションを実施する。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ 電車の乗車により排出するCO2を対象範囲とする。

算定

- ・ 支援システムの“料金オフセット”を用いて算定を実施する。周遊きっぷの定価を入力し、排出されるCO2量を確認する。
- ・ 周遊きっぷオフセット量が端数になった場合は適当な単位で切り下げて情報提供を行う。(支援システムにおけるオフセット報告は切り上げで端数処理するため、顧客へ伝えるCO2量の端数は切り下げておくことで、顧客へ伝えている量以上をオフセット出来るため信頼性は確保される)
- ・ 複数モードの場合は、算定は支援システム外で、交通・観光カーボンオフセットガイドラインVer.1.2に則り実施する。

オフセット量設定

- ・ オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、半分や25%などでも良い。

料金徴収方法

- ・ オフセット料金は徴収しない(事業者で負担する)。

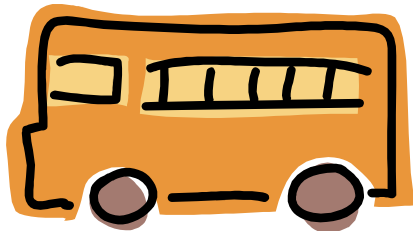
情報提供

- ・ 周遊きっぷ販売時に、チラシやマップなどを同時に配り、そのチラシ上で情報提供を実施する。
- ・ ポスターなどは周遊きっぷのひとつの特徴としてオフセットの取り組みを説明するだけで良いが、販売時に配るチラシや、WEBでの情報提供では、支援システムの雛型に沿って、情報提供を行う。

運営

- ・ オフセット報告は、月次やキャンペーン終了時などでまとめて、周遊きっぷ総販売額データを”料金オフセット“に入力する。
- ・ 複数モードの場合は、支援システム外で算定したCO2量に周遊きっぷの販売量を掛け合わせた量に、オフセット枠の単価を乗じた額を“かんたんオフセット”にて報告する。

オフセット定期券



通勤1ヶ月 00-1234567

京八駅 榎原町

22 -12. 22

エコモ タロウ様 20才 男

13050円

本定期券による乗車によって排出されるCO2をオフセットしています。
詳しくはこちらまで <http://www.xx.co.jp>

【オフセット対象】

走行

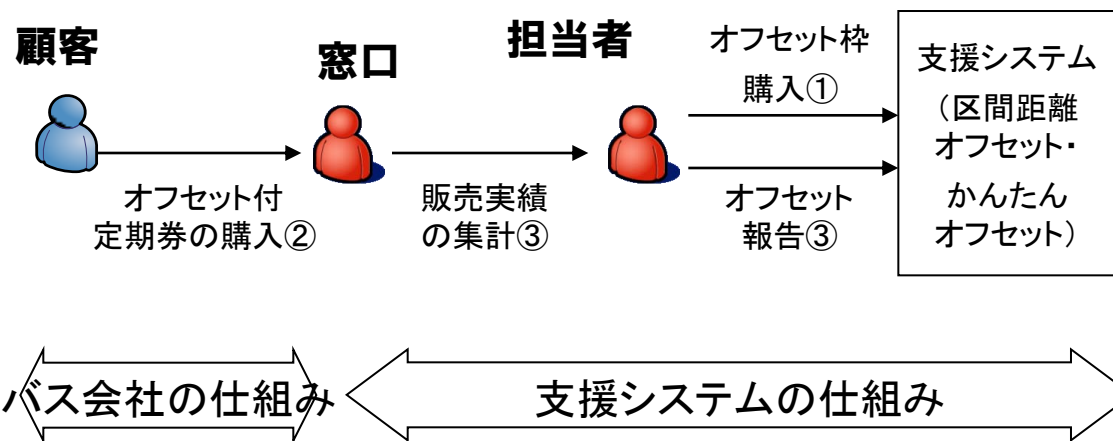
【取り組み概要】

該当区間を1日2回×20日＝40走行分で排出されるCO2がオフセットされた定期券を発売する。

特徴	● 毎日使う乗り物で、日常手軽に環境への貢献が出来る
狙い	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-right: 5px;">マーケティング (新規顧客)</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-right: 5px;">マーケティング (囲い込み)</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px; margin-left: 10px;">CSR</div> </div>
オフセット量 (概算値)	5km区間で1ヶ月走行で10kgCO2前後 (交通・観光カーボンオフセットガイドライン Ver.1.2)
支援システム オフセット方法	区間距離オフセット(算定に利用) かんたんオフセット(報告に利用)

毎日利用する乗り物で少しずつ環境貢献したい個人へ1つの選択肢を提供

仕組み概要



- ① 定期券の販売量などから予想オフセット量を算出し、オフセット枠を購入
- ② 定期券を購入する際に、任意でオフセット付定期券を選択
- ③ 月次などで、オフセット付定期券販売データを集計
- ④ 支援システムで、通常定期券との差額分合計金額を入力

導入に際する留意点 - 効果を上げるために

サービス内容に関して

- ・ 顧客がオフセット付、無しを選べる形式にするため、オフセット料金は顧客から徴収することを想定。
- ・ 顧客からオフセット料金を徴収するため、定期券の色を変える、定期券にオフセット付と明示するなど、サービスの見える化は必要。
- ・ 窓口での回転を早くするために、オフセット付定期券の定価は定めておく。

プロモーション方法に関して

- ・ 窓口におけるポスターやチラシなどで、情報を提供することが必要。
- ・ 窓口のみの情報提供では認知されない可能性もあるため、バス停などでも情報を提供。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ 走行により排出するCO2を対象範囲とする(1日に2回乗車し、月20日乗車する想定)。

算定

- ・ 支援システムの“区間距離オフセット”を用いて、区間ごとに、1ヶ月で1人において排出されるCO2量を確認する。

オフセット量設定

- ・ オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、半分や25%などでも良い。
- ・ 業務を単純化するため、上記選択肢のうちどれか1つを採用した方が良い。

料金徴収方法

- ・ オフセット料金は定期券の販売価格に組み込み、通常の定期券より金額を上乗せする。
- ・ オフセット料金は、支援システムから既に購入したオフセット枠の単価×上記算定結果で設定する。
- ・ オフセット料金に端数が発生した場合は、切り上げを行う。

情報提供

- ・ 定期券に、オフセットされている旨と、情報提供しているWEBページへのURLを記載する。
- ・ WEBページでは各区間別のCO2量を明示する。
- ・ その他は支援システムが提供する雛型に沿って情報提供を行う。

運営

- ・ 月次などで、オフセット付定期券売上高から通常定期券との差額分だけを集計する。
- ・ 支援システムの“かんたんオフセット”を用いて、差額分の総額をシステムへ入力する。

カーボンニュートラルバス広告

中吊り広告

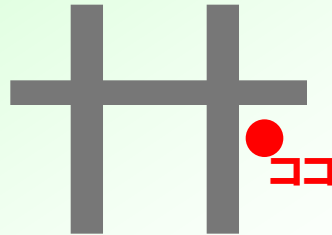
カーボンニュートラルバス

エコモ医院(内科)のご協力により
本バスの走行により排出されるCO2を
オフセットしています。

期間:2010年12月(1ヶ月間)

エコモ医院

内科・小児科



【オフセット対象】

走行

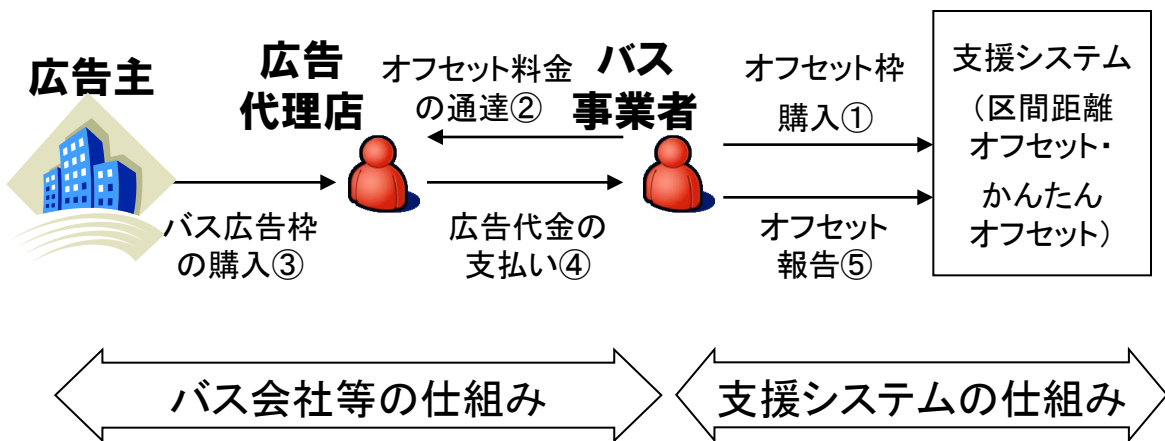
【取り組み概要】

バスの中吊り広告主がカーボンオフセット費用を負担する代わりに、環境配慮型広告を用意。

特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● オフセットする費用は広告主負担 ● 広告主側も、良い位置で広告が出来、環境配慮もアピール可能
狙い	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px; margin-right: 5px;">マーケティング (新規顧客)</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px; margin-right: 5px;">マーケティング (囲い込み)</div> <div style="border: 1px solid lightblue; padding: 2px; margin-left: 20px;">CSR</div> </div>
オフセット量 (概算値)	1日1000人を平均5km輸送するとして1ヶ月で、凡そ7.5トン前後 (交通・観光カーボンオフセットガイドライン Ver.1.2)
支援システム オフセット方法	区間距離オフセット(算定に利用) かんたんオフセット(報告に利用)

広告主とバス事業者双方にCSR効果
また、エコ宣伝を切り口に、新規広告主の開拓へ

仕組み概要



- ① 広告枠の販売件数などから予想オフセット量を算出し、オフセット枠を購入
- ② 事前にオフセット料金を代理店などへ通達
- ③ オフセット付広告枠の購入
- ④ 広告代金の支払い
- ⑤ 支払い確認後、支援システムでオフセット料金分だけを入力

導入に際する留意点 - 効果を上げるために

<p>サービス 内容に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告主が資金負担することにより、路線バスの走行に伴い排出されるCO2をオフセットすることを利用客へ伝えられるような広告を作成する(広告内でも良いが別途ポスターなどを作成してもよい)。 ・ オフセット広告枠を利用した広告主には良い位置などを提供した方が良い。
<p>プロモーション 方法に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス事業者を通じて、広告主にもCSR効果が発生し、地域住民の広告主へのイメージUPが図られることを積極的にPRしていく。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ 走行により排出するCO2を対象範囲とする。

算定

- ・ 広告を出稿する路線の1人あたり平均乗車距離と、1日あたり乗車人数を利用して算定する。
- ・ 支援システムのオフセット報告“区間距離オフセット”を利用し、“区間距離“に1人あたり平均乗車距離を入力、1日あたり乗車人数を”人数“に、広告出稿日数÷40を、“期間月数“に入力してCO2量を算定する。※”期間月数“は、1ヶ月40人・回の乗車を想定しているため。
- ・ 路線別にオフセット広告のオフセット料金を算出することが必要。
- ・ 支援システムで利用可能な“区間距離オフセット”を利用せず、省エネ法報告等に利用する燃料法、燃費法、改良トンキロ法などを用いて算定しても良い。

オフセット量設定

- ・ オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、半分や25%などでも良い。

料金徴収方法

- ・ オフセット料金は支援システムから既に購入したオフセット枠の単価×上記算定結果で設定する。
- ・ オフセット料金は予め広告主へお知らせしておく必要がある。
- ・ オフセット料金に端数が発生した場合は、切り上げを行う。

情報提供

- ・ 広告主に対して、オフセットの取り組みや利用する排出権、CO2算定方法など、支援システムの雛型に沿った情報提供を実施することが求められる。
- ・ 利用客に対しては、広告の中もしくは別途用意するチラシ・車内ポスター等で情報提供を行う。

運営

- ・ オフセット広告枠の受注があるたびに、報告を実施する。
- ・ 受注量が多いときは、月次などでまとめて報告してもよい。
- ・ 受注の都度報告する場合、月次などでまとめて報告する場合の双方とも、オフセット報告は“かんたんオフセット”にて、オフセット料金総額を入力することで報告する。

チケット販売時オフセット

一緒にオフセットもいかがでしょうか？
東京-大阪でXX円になります。



【オフセット対象】

走行

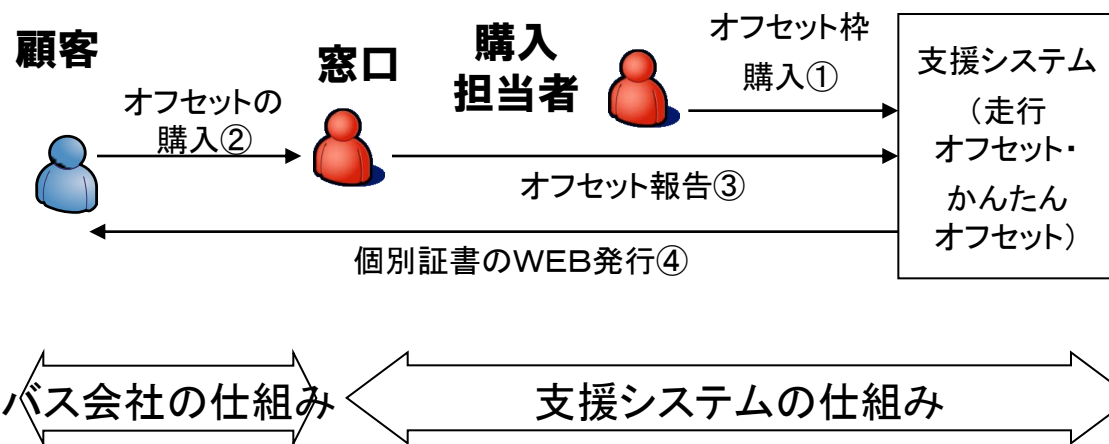
【取り組み概要】

高速バスなどのチケット販売時にオフセットも販売。予めライン別のCO2量を計算しておき、顧客へ販売する。

特徴	● 窓口で説明することで、取り組みを効果的にアピール
狙い	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">マーケティング (新規顧客)</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">マーケティング (囲い込み)</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">CSR</div> </div>
オフセット量 (概算値)	1人550km走行で、13.9kgCO2 (交通・観光カーボンオフセットガイドライン Ver.1.2)
支援システム オフセット方法	走行オフセット(算定・報告に利用) かんたんオフセット(まとめて報告する場合、報告に利用可)

環境意識の高いお客さまへ、お取り組みの方法を提供

仕組み概要



- ①チケット販売量などから予想オフセット量を算出し、オフセット枠を購入
- ②チケットを購入する際に、任意でオフセットも購入
- ③窓口の担当者が支援システムからオフセットを報告
- ④WEBから個別証明書がメールアドレスに発行される

導入に際する留意点 -効果を上げるために

サービス 内容に関して

- ・ オプションでオフセットサービスを提供するため、オフセット料金は顧客から徴収することを想定。
- ・ 顧客からオフセット料金を徴収するため、個別証書の発行等、オフセットの見える化は必要。
- ・ 窓口での回転を早くするために、都度窓口担当者が報告するのではなく、まとめて担当者が報告するケースも考えられる。この場合は、個別証書が発行できないため、独自証書を発行する。

プロモーション 方法に関して

- ・ 窓口におけるポスターやチラシなどで、情報を提供することが必要。
- ・ 質問に答えられるように、ある程度は窓口の担当者へオフセットに関する研修が必要。
- ・ 窓口で一言聞くことによって、会社としてのCSR効果を狙う。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ バスの走行により排出するCO2を対象範囲とする。

- ・ 支援システムの“走行オフセット”を用いて、路線ごとに排出されるCO2量の算定を実施する。“1台の乗車人数”という欄には定員を入力する。

算定

- ・ 顧客へ課金する形が基本だと想定されるため、オフセットの量は、バス走行により排出するCO2の、“全て”“半分”など、複数の選択肢があった方が良い。

オフセット量設定

- ・ 都度窓口から支援システムWEB上で報告する場合は、支援システムWEB上でオフセット量と、オフセット料金が表示される。

- ・ 担当者がまとめて報告する場合は、“走行オフセット”にて、バス運行路別にCO2量を計算し、既に購入したオフセット枠の単価を乗じることで、予め料金表を作成する。料金表作成時の1回当たりのオフセット料金が端数になった場合は切り上げを行う。

- ・ 切り上げを行った場合、“かんたんオフセット”を利用する報告では頂いたオフセット料金全てをオフセットに廻すため信頼性に問題はない。

料金徴収方法

- ・ “走行オフセット”で報告する場合は、四捨五入の関係により、頂いたオフセット料金より低い金額がオフセットに廻されるため、そのことを事前に顧客へ通知することが必要（一部は事務手数料に利用します等）。

情報提供

- ・ 都度窓口から報告する場合は、支援システムから発行される個別証明書を利用する。その際、窓口で顧客のメールアドレスを入力することで、システムから自動でそのメールアドレスに個別証明書を発行することが可能。

- ・ まとめて報告する場合は、チラシなどで、購入いただいた顧客へ情報提供を行う。路線別にCO2量が異なるため、1km当たりCO2など参考情報を記載しておく。

運営

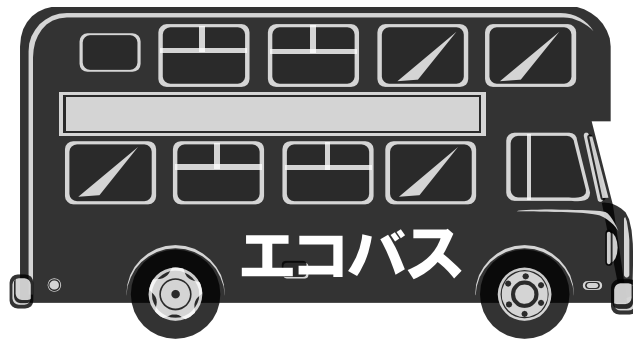
- ・ 都度窓口からオフセット報告することが望ましい。

- ・ まとめて報告する場合は、“かんたんオフセット”にオフセット料金総額を報告する。

- ・ 都度窓口からオフセット報告する場合は、オフセット報告の在庫が切れないう、購買の担当者は常にオフセット枠の残量をチェックする必要がある。

定期観光バスオフセット

・エコバスで行く、銀座・丸の内



- ・360° パノラマ
- ・2階建て
- ・エコ(カーボンオフセット)

【オフセット対象】

走行

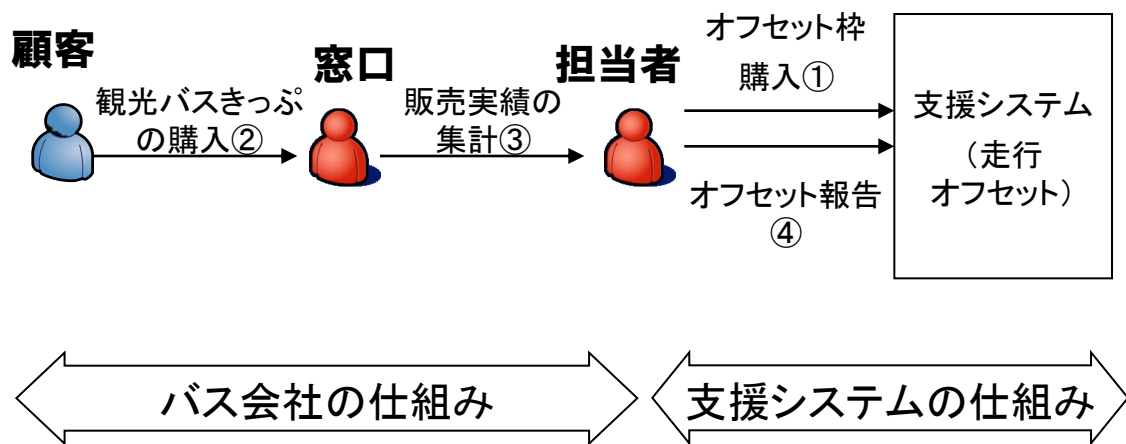
【取り組み概要】

定期観光バスなどの走行で排出されるCO2を事業者の負担でカーボンオフセットを実施。環境にやさしいバスとして顧客へアピール。

特徴	● 1台まるごとオフセットのため、煩雑な業務は不要
狙い	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">マーケティング (新規顧客)</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">マーケティング (囲い込み)</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">CSR</div> </div>
オフセット量 (概算値)	1日1台100km走行で、75kgCO2前後/日 (交通・観光カーボンオフセットガイドライン Ver.1.2)
支援システム オフセット方法	走行オフセット(算定・報告に利用)

バス観光の魅力に“環境配慮”もプラス

仕組み概要



- ①定期観光バスきっぷの販売量などから予想オフセット量を算出し、オフセット枠を購入
- ②定期観光バスきっぷの購入
- ③定期観光バスきっぷの販売実績を集計
- ④月次などで、支援システムに、定期観光バスの総人・kmを入力

導入に際する留意点 - 効果を上げるために

サービス内容に関して

- ・ キャンペーンや、定期観光バスの販促が目的のため、オフセット費用は事業者が負担する。
- ・ 環境に負荷をかけない観光サービスとして顧客へ提供する。

プロモーション方法に関して

- ・ 定期観光バスチケット販売時に、チラシやマップなどを同時に配り、そのチラシ上で情報提供を実施する。
- ・ 車内などに取り組みの概要を示すチラシや、ポスターなどを用意しておく。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ バスの走行により排出するCO2を対象範囲とする。

算定

- ・ 支援システムの“走行オフセット”を用いて、定期観光バスの総旅客数×1回あたりの走行距離で、人・kmを求める。

オフセット量設定

- ・ オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、半分や25%などでも良い。

料金徴収方法

- ・ オフセット料金は徴収しない(事業者で負担する)。
- ・ 任意で顧客がオフセット料金を支払う場合は、チケット販売時、または、観光時にガイドが徴収する方法などが考えられる。ガイドが徴収する場合は、オフセットの説明などが可能なように研修・教育が必要。
- ・ 任意で顧客がオフセット料金を支払う場合は、1回の観光で排出されるCO2量、金額などを目安表として表示しつつ、任意の金額を徴収する。

情報提供

- ・ 定期観光バスチケットの販売時に、チラシやマップなどを同時に配り、そのチラシ上で情報提供を実施する。
- ・ 車内で提供するチラシやポスターなどはオフセットの取り組みを説明するだけで良いが、販売時に配るチラシや、WEBでの情報提供では、支援システムの雛型に沿って、信頼性のある情報提供を行う必要がある。

運営

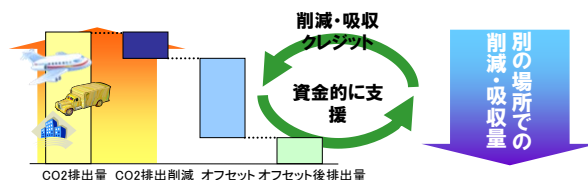
- ・ オフセット報告では、“走行オフセット”を利用し、システムへの入力“1台の乗車人数”と“うち、オフセット人数”に総旅客数を入力し、“区間距離”に、1回あたりの走行距離を入力して、算定する。

<参考>チラシでの情報提供例

丸の内定期バスでエコ観光

カーボンオフセットについて

カーボンオフセットとは、自分の温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)することをいいます。



カーボンオフセットバスについて

バスの走行によるCO2の排出をオフセットした環境に配慮した、定期観光バスです。

対象	バスの運行により排出されるCO2
算定方法	当社固有の燃料消費人キロ原単位に、区間平均距離と人数、GHG排出係数を乗じて算出しています。
削減・吸収クレジットについて	国連認証クレジット(CER)のインド風力発電を利用しています。詳しくは、以下のWEBページをご覧ください。 http://www.xxx.xx.co.jp/offset
販売価格・その他支払いに関する事項	オフセット料金は当社が負担いたします。

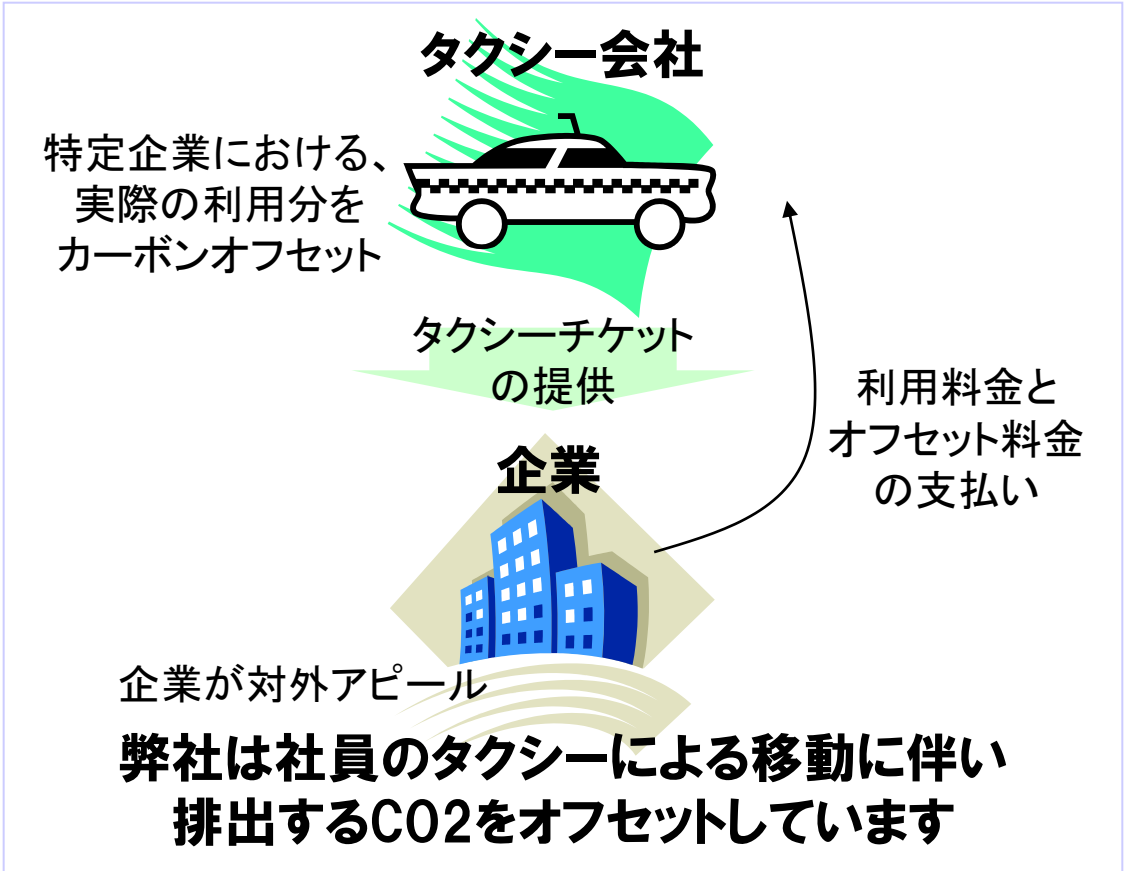
〇〇バスの今までの取り組み

当社は、〇年にグリーン経営認証を取得するなどして、環境にやさしい事業運営に積極的に取り組んできました。

あなたにも出来る身近な温暖化対策

車の運転時はエコドライブに心がけましょう。また、むだな車利用を見直し、徒歩・自転車・公共交通機関による移動を増やすことでCO2排出を削減出来ます。

タクシーチケット法人購入オフセット



【オフセット対象】

走行

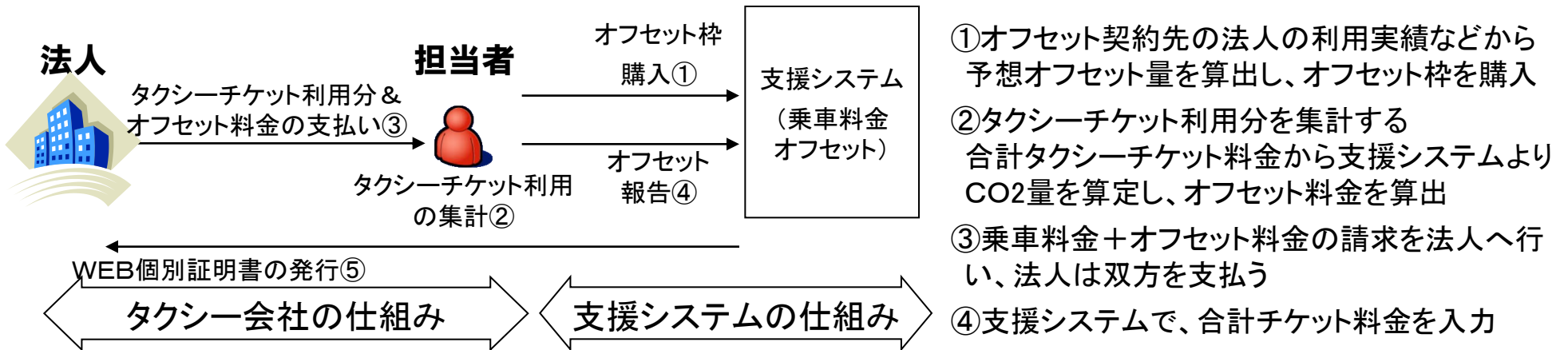
【取り組み概要】

個別契約で、タクシーチケット利用会社の費用負担により、タクシー会社がチケット利用分の走行で排出するCO2をオフセット。

特徴	● 法人のCSR活動へのソリューションを提供
狙い	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">マーケティング (新規顧客)</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">マーケティング (囲い込み)</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">CSR</div> </div>
オフセット量 (概算値)	710円(初乗運賃)が2km走行だと仮定して、 0.5kgCO2前後 (交通・観光カーボンオフセットガイドライン Ver.1.2)
支援システム オフセット方法	乗車料金オフセット(算定・報告に利用)

CSRの取り組みを行いたい企業へタクシー会社として解決策を提供

仕組み概要



- ① オフセット契約先の法人の利用実績などから予想オフセット量を算出し、オフセット枠を購入
- ② タクシーチケット利用分を集計する
合計タクシーチケット料金から支援システムよりCO2量を算定し、オフセット料金を算出
- ③ 乗車料金+オフセット料金の請求を法人へ行い、法人は双方を支払う
- ④ 支援システムで、合計チケット料金を入力

導入に際する留意点 - 効果を上げるために

<p>サービス 内容に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対法人向けサービスのため、法人が対外的にアピール出来るツール(WEBの雛型など)をタクシース事業者から提供した方がよい。 ・ 法人からオフセット料金をいただきオフセットサービスを提供するため、オフセットの証明書は提供した方がよい、支援システムにおける個別証明書発行機能を利用する。
<p>プロモーション 方法に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記のツール(WEBの雛型など)を利用して、法人が手軽にCSR活動に取り組める点、法人の業務負担などが無い点について、積極的にアピールしていく。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ タクシーの走行により排出するCO2を対象範囲とする。

算定

- ・ 事前の算定は不要(原単位設定は必要)。
- ・ オフセット報告時に、“乗車料金オフセット”で報告することで算定される。

オフセット量設定

- ・ 法人へはオフセット枠の単価(kgあたり幾ら)を通知しておけば良いが、可能であれば、“乗車料金オフセット”のお試し計算を用いて、乗車料金1000円あたりCO2排出量が何kgかも同時に情報共有を行う。

料金徴収方法

- ・ オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、半分や25%などでも良い。

情報提供

- ・ オフセット料金は、チケット利用料とともに請求する。
- ・ 法人へは事前のオフセット料金はオフセット枠の単価(kgあたり幾ら)で通知しておく。
- ・ 月次など法人と取り決めた期間において、オフセット算定を実施し、既に購入したオフセット枠の単価を乗じることで法人へ請求を実施(請求は支援システム外)。

運営

- ・ タクシー事業者側の情報提供は支援システムが提供する雛型に沿って行う。
- ・ 法人へは個別証明書の発行を支援システムより行う。

- ・ オフセット報告はチケット代金の請求締めと同じタイミングで実施する。
- ・ オフセット報告は法人別を実施する(個別証明書を発行するため)。
- ・ オフセット報告は、“乗車料金オフセット”を用いて、締めに該当法人のタクシーチケット利用料全額を“徴収乗車量金額”へ入力し、報告を行う。

エコ観光タクシー

観光タクシーツアー



一日観光 2万円
 オフセット付エコ観光 2万500円



【オフセット対象】

走行

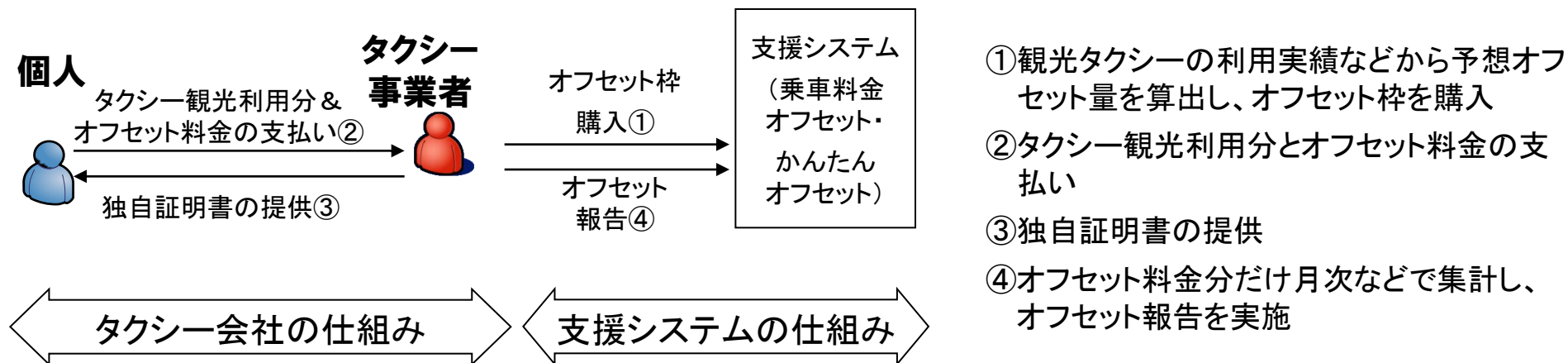
【取り組み概要】

一日観光パッケージに、オフセット付も用意。オフセット付のエコ観光を選んだお客さまへは、値段が高くなる分、お店の割引券などを提供。

特徴	● エコな側面を出すことで、他社とのサービス差別化が可能
狙い	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">マーケティング (新規顧客)</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">マーケティング (囲い込み)</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">CSR</div> </div>
オフセット量 (概算値)	20,000円で20km程度走行すると仮定し、5kgCO2前後 (交通・観光カーボンオフセットガイドライン Ver.1.2)
支援システム オフセット方法	乗車料金オフセット(算定に利用) かんたんオフセット(報告に利用)

折角の旅行をエコにするサービスを提供しつつ、お店割引券などで顧客満足度もUP

仕組み概要



導入に際する留意点 - 効果を上げるために

<p>サービス 内容に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人にオフセット料金をお支払いいただくため、個別証明書の発行など取り組みの見える化は必要。 オフセットをしていただいたお客さまへは、飲食店、観光地、お土産店の割引チケットを渡すなどプラスアルファの付加価値と共に提供した方が良い。
<p>プロモーション 方法に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> 車内のチラシでアピールを実施することで、タクシー事業者としてもCSRアピールが可能 環境に配慮したサービスを訴求し、ホテルや駅などにチラシを置いてもらう。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ タクシーの走行により排出するCO2を対象範囲とする。

算定

- ・ 支援システムの“乗車料金オフセット”を用いて、1日分の乗車あたりのCO2算定を実施する。1日分の乗車料金定額を“乗車料金オフセット”の“徴収乗車料金額”へ入力することで算定を行う。

オフセット量設定

- ・ オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、半分や25%などでも良い。

料金徴収方法

- ・ オフセット料金は、1日分の乗車料金とともに請求する。
- ・ 1日分の乗車料金は定額でサービスを提供している事業者が多いため、オフセット料金も定額で準備可能。
- ・ オフセット料金は支援システムから既に購入したオフセット枠の単価 × 上記算定結果で設定する。

情報提供

- ・ タクシー事業者側の情報提供は支援システムが提供する雛型に沿って行う。
- ・ 予め、オフセット量などを記載した個別証明書を用意し、お客さまにその場で手渡しをする。

運営

- ・ オフセット報告は月次などで“かんたんオフセット”にて、オフセット料金総額を入力することで報告する。

カーボンオフセット運送キャンペーン

キャンペーン期間中、
事業者負担で
カーボンオフセット



【オフセット対象】

運送

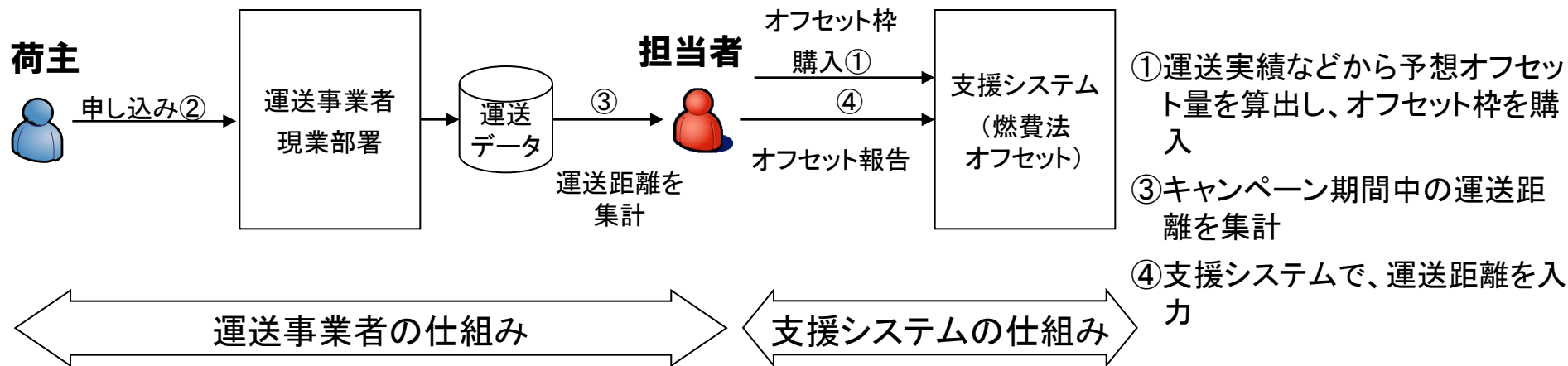
【取り組み概要】

環境月間等、期間を限定してトラック運送に伴うCO2排出を事業者負担でカーボンオフセット。

特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● 期間限定のため、オフセット費用負担を抑えられる ● 試行的に実施できる
狙い	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">マーケティング (新規顧客)</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">マーケティング (囲い込み)</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">CSR</div> </div>
オフセット量 (概算値)	最大積載量2トンの車両が月3,000km走行すると仮定して1,690kgCO2/月、台(交通・観光カーボンオフセットガイドラインVer.1.3)
支援システム オフセット方法	燃費法オフセット(算定・報告に利用)

環境意識の高い荷主に、自社の環境への積極的な取り組み姿勢をアピール

仕組み概要



導入に際する留意点 - 効果を上げるために

サービス 内容に関して

- ・ WEB証明書は、一括してオフセット報告をすれば、運送事業者宛てに1枚発行されるので、自社のHPや環境報告書への掲載、事業所での掲示等に利用できる。
- ・ 荷主の認知度を高めて取組の効果を上げるためには、手間はかかるが、個々の荷主宛てのWEB証明書を発行することも考えられる(オフセット報告時に、キャンペーン期間中の対象荷主別の使用車両とそれぞれの車両の運送距離の入力が必要になる)。
- ・ オフセット費用負担をさらに軽減するためには、対象車両を限定する方法も考えられる。

プロモーション 方法に関して

- ・ 効果的に認知していただくため、HPやチラシでの情報提供に力を入れる。
- ・ 従来から実施している自社の環境対策にも触れたうえで、キャンペーン期間中はさらに環境に配慮した本取組を実施することをアピールする。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセット の対象範囲

- ・トラック輸送により排出するCO2をオフセットする。

算定

- ・支援システムの“燃費法オフセット”を用いて、CO2排出量を算定する。
- ・燃費については、支援システムに登録済みの既存データを用いることができるが、自社の燃費のほうが優れている場合は、自社固有データを登録して算定することも可能である。

オフセット量 設定

- ・オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、一部をオフセットすることでも良い。支援システムにおいては、全量、半量のほか、□(数字を自由入力)%も選択可能である。

料金徴収 方法

- ・オフセット料金は徴収しない(事業者が負担する)。

情報提供

- ・現業部署の従業員への周知教育が必要である。
- ・チラシやHPが情報提供の主な媒体となる。
- ・チラシやHPの作成にあたっては、支援システムで提示している雛形を参考にとると良い。

運営

- ・オフセット報告は、期間中の輸送距離を、キャンペーン終了時または月次で車種区分ごとに集計して実施する。

カーボンオフセットトラック運送サービス

対象荷主に帰属する
CO2排出量を
トンキロ法で算出してオフセット



【特別積合せ事業など】

カーボンオフセット
証明書を発行



【オフセット対象】

運送

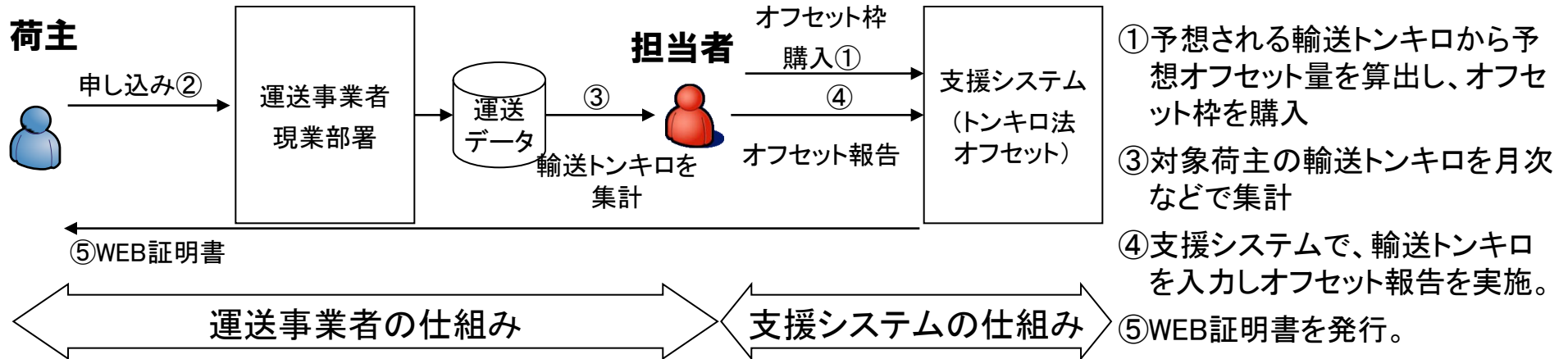
【取り組み概要】

特別積合せ事業などにおいて、荷主を限定して、事業者負担でカーボンオフセットを提供。

特徴	● 新規荷主のみに利用する等して、費用負担を抑えることが可能
狙い	マーケティング (新規顧客) マーケティング (囲い込み) CSR
オフセット量 (概算値)	普通車(1ナンバー)で月に6,000トンキロの輸送と仮定して約800kgCO ₂ /月(交通・観光カーボンオフセットガイドラインVer.1.3)
支援システム オフセット方法	トンキロ法オフセット(算定・報告に利用)

新たな切り口で環境意識の高い荷主の新規開拓に

仕組み概要



導入に際する留意点 - 効果を上げるために

サービス内容に関して

- ・ 運送事業者のオフセット費用負担を抑えるため、新規申込後〇カ月間のみサービスとすることも考えられる。
- ・ 荷主のCSR活動のPRにもなるよう、証明書の宛名を荷主名にするなど工夫する。
- ・ 荷主と連携し、特定商品(荷物)について共同でオフセットするといったバリエーションも考えられる。

プロモーション方法に関して

- ・ 新規開拓用の営業チラシなどに、カーボンオフセットの仕組みや効果を掲載する。
- ・ 輸送トンキロ別のCO2排出量(オフセット量)を支援システムで試算して掲載するとよい。
- ・ 環境意識の高い荷主に訴求するために、自社のその他の環境関連の取組もアピールしたい。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・トラック輸送により排出するCO2をオフセットする。

算定

- ・支援システムの“トンキロ法オフセット”を用いて、対象荷主向け輸送サービスのCO2排出量を算定する。

オフセット量設定

- ・オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、一部をオフセットすることでも良い。支援システムにおいては、全量、半量のほか、□(数字を自由入力)%も選択可能である。

料金徴収方法

- ・オフセット料金は徴収しない(事業者が負担する)。

情報提供

- ・現業部署(特に新規荷主開拓の営業担当)の従業員への周知教育が必要である。
- ・チラシとWEB証明書が情報提供の主な媒体となる。
- ・チラシについては、支援システムで提示している雛形を参考にするとよい。
- ・荷主のCSR活動をPRするための活用方法なども記載するとよい。

運営

- ・オフセット報告は、対象荷主の輸送トンキロを車種区別に月次などで集計して実施する。

カーボンオフセット配送

集荷票

宅配便	届け先	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/>
	ご依頼主	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/>

午前中

13～15

15～18

夜間

**カーボン
オフセットを
実施する**

【オフセット対象】

配送

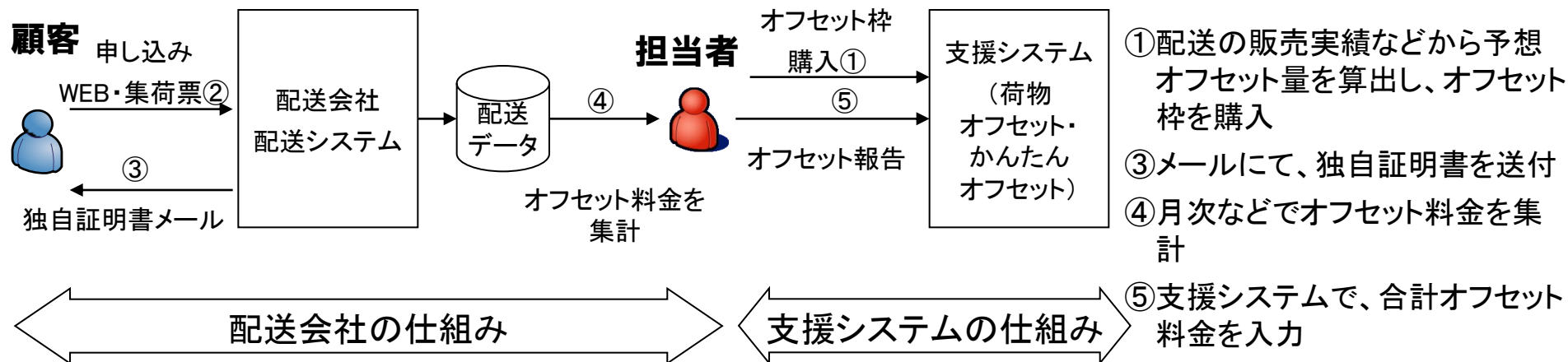
【取り組み概要】

希望する方には配送におけるCO2排出をカーボンオフセットする仕組みを提供。追加でオフセット料金をいただく。

特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● 通常サービスのオプションとしてオフセットサービスを用意 ● WEBからの集荷申し込みのみを対象とすることも可能
狙い	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">マーケティング (新規顧客)</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">マーケティング (囲い込み)</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">CSR</div> </div>
オフセット量 (概算値)	0.38kgCO2/個 (ヤマト運輸 2009CSR報告書より)
支援システム オフセット方法	荷物オフセット(算定に利用) かんたんオフセット(報告に利用)

環境の意識が高い個人へ、カーボンオフセットという取り組みを提供

仕組み概要



導入に際する留意点 - 効果を上げるために

サービス 内容に関して

- ・ 通常サービスのオプションとして提供するため、WEB申し込み時や集荷票等でオフセットの意思を確認し、顧客の負担によりオフセットを提供する。
- ・ キャンペーン等と絡めて、宅配事業者が負担することも考えられる。
- ・ 独自証明書は申込者にメールで通知する方法が基本となるが、配送先へ送ることにより受け取る側の満足度向上につなげる形も考えられる。

プロモーション 方法に関して

- ・ 効果的に認知していただくため、HPや集荷票にオフセットの仕組みを記載する。
- ・ 荷物オフセットにおける環境効果(木何本分など)を明示し、次も使おうと顧客が感じる事が重要である。
- ・ 小売店などに置く宅配のチラシなどに、オフセットの取り組みを簡単に記載し、他社との差別化を図る(より目に留まるようにする)。
- ・ 小売店・メーカーと連携し、特定商品の配送を共同でオフセットするパターンも考えられる。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ 荷物の配送車両により排出するCO2をオフセットする。

算定

- ・ 交通・観光カーボンオフセットガイドラインVer.1.2に基づき、荷物1個あたりのCO2排出量を算定する。

オフセット量設定

- ・ オフセット量はオフセット対象の全量が望ましい(CO2量が少量なので、50%や25%などとする単価が1円を切る可能性が大きくなる)。

料金徴収方法

- ・ WEB経由での申し込みを受け付ける場合は、WEBシステムの改修が必要となる。
- ・ 自社の物流を専属で契約している小売店・メーカーと共同でオフセットする場合は、費用を折半するなどの形が考えられる。
- ・ 荷物一個あたりのオフセット料金が小額になると想定されることからクレジットカード等によるWEBでの決済が良い。
- ・ オフセット料金は支援システムから既に購入したオフセット枠の単価×上記算定結果で設定する。
- ・ オフセット料金に端数が生じた場合は、切り上げでオフセット料金を設定する。オフセット報告を“かんたんオフセット”にし、オフセット料金を入力することで、事業者が余分に料金を徴収することは無くなる。
- ・ 集荷票や申込WEBの改修が必要となる。

情報提供

- ・ WEB経由での申し込みを受け付ける場合は、HPによる情報提供を基本とする。集荷票のみで申し込みを受け付ける場合は、チラシなどで情報を提供する。
- ・ 利用者への証明書の発行はメールによる通知を基本とするが、このメールに算定方法等の情報を記載することが考えられる。この場合はシステム改修が必要になる。
- ・ 送り先へ独自証明書を発行し、証明書に情報を記載する形も考えられる。

運営

- ・ オフセット報告は月次などで“かんたんオフセット”にて、オフセット料金総額を入力することで報告する。

簡易梱包オフセット

お客さまが簡易梱包を選択

簡易梱包お礼カード

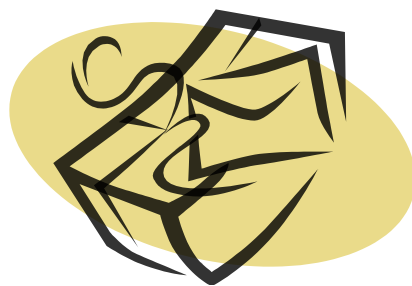
配送における
CO2をオフセット
しています

簡易梱包へのご協力
ありがとうございます。



お礼として、配
送における
CO2をオフセッ
トしました。

簡易梱包の荷物



【オフセット対象】

配送

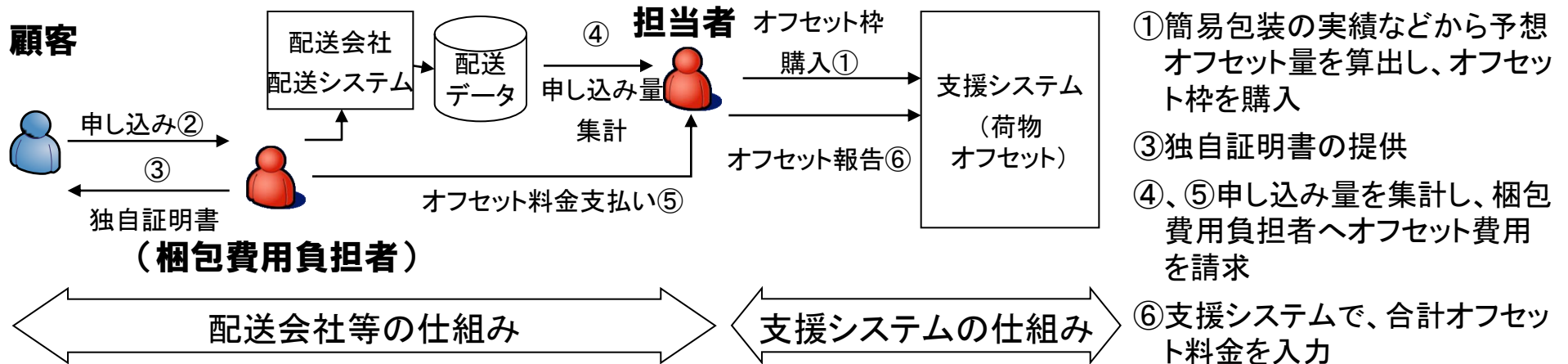
【取り組み概要】

通販や店頭での配送の際に、簡易梱包を選ん
でいただくと、サービスで配送におけるCO2排
出をオフセット。

特徴	● 簡易梱包で削減した費用の一部をオフ セットへ
狙い	マーケティング (新規顧客) マーケティング (囲い込み) CSR
オフセット量 (概算値)	0.38kgCO2/個 (ヤマト運輸 2009CSR報告書より)
支援システム オフセット方法	荷物オフセット(算定・報告に利用)

環境にやさしい簡易梱包を選択いただいたお礼として、カーボンオフセットを提供

仕組み概要



導入に際する留意点 -効果を上げるために

サービス内容に関して

- ・ 簡易梱包により梱包コスト低減を享受できる主体がオフセット費用を負担する。
- ・ 店頭で申し込みを受ける場合はカード(独自証明書)を予め用意し、申し込み時に手渡す。
- ・ 独自証明書は申込者にWEB申し込みならメールで送信し、店頭ならカードを手渡す方法が基本となる。

プロモーション方法に関して

- ・ 効果的に認知していただくため、HPや店頭のチラシ、カード(独自証明書)にオフセットの仕組みを記載する。
- ・ 荷物オフセットにおける環境効果(木何本分など)を明示し、次も使おうと顧客が感じる事が重要である。
- ・ 小売店などに置く宅配のチラシなどに、オフセットの取り組みを簡単に記載し、他社との差別化を図る(より目に留まるようにする)。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ 荷物の配送車両により排出するCO2をオフセットする。

算定

- ・ 交通・観光カーボンオフセットガイドラインVer.1.2に基づき、荷物1個あたりのCO2排出量を算定する。

オフセット量設定

- ・ オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、半分や25%などでも良い。

料金徴収方法

- ・ 簡易梱包により梱包コスト低減を享受できる主体がオフセット費用を負担する。

- ・ 通販事業者、宅配会社のそれぞれが梱包コスト低減を享受する場合は折半するなどの形が考えられる。

- ・ オフセット料金は支援システムから既に購入したオフセット枠の単価×上記算定結果で設定する。

- ・ また1個あたりオフセット料金は端数になっても良い(月次で集計を行うため)。

- ・ オフセット料金の徴収は月次などでまとめて行う。月次での総簡易梱包数量×1個あたりオフセット料金で求める。集計後、オフセット料金に端数が生じた場合は切り上げを行う。

情報提供

- ・ 店頭申し込みの場合、予めカード(独自証明書)を準備し、申し込み時に手渡す。

- ・ 店頭のPOP等によりオフセットの仕組みを示す。

- ・ 通販の場合、HPによる情報提供を基本とする。

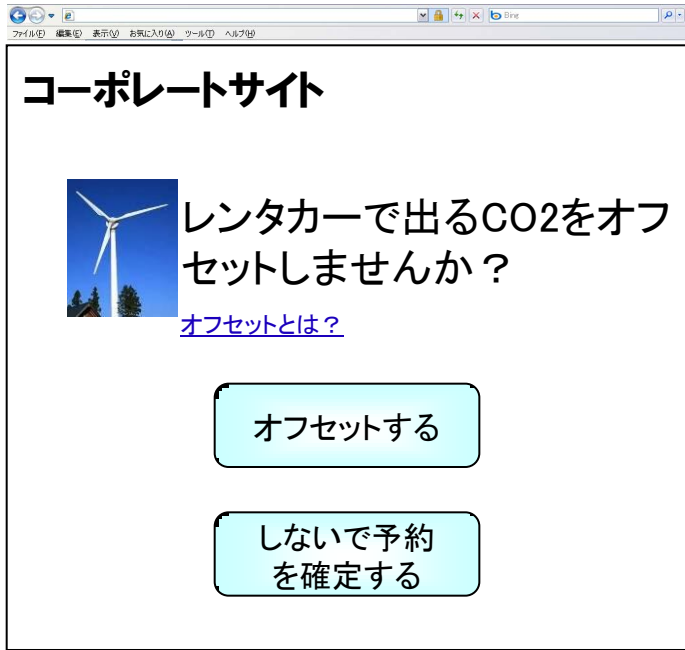
- ・ 通販の場合、利用者への証明書の発行はメールによる通知を基本とするが、このメールに算定方法等の情報を記載することが考えられる。またこの場合はシステムの改修が発生する。

- ・ 送り先へ独自証明書を発行し、証明書に情報を記載する形も考えられる。

運営

- ・ オフセット報告は月次などで“かんたんオフセット”にて、オフセット料金総額を入力することで報告する。

WEB申し込み時にオフセットオプション



レンタカー予約時にオフセットも同時に購入

【オフセット対象】

走行

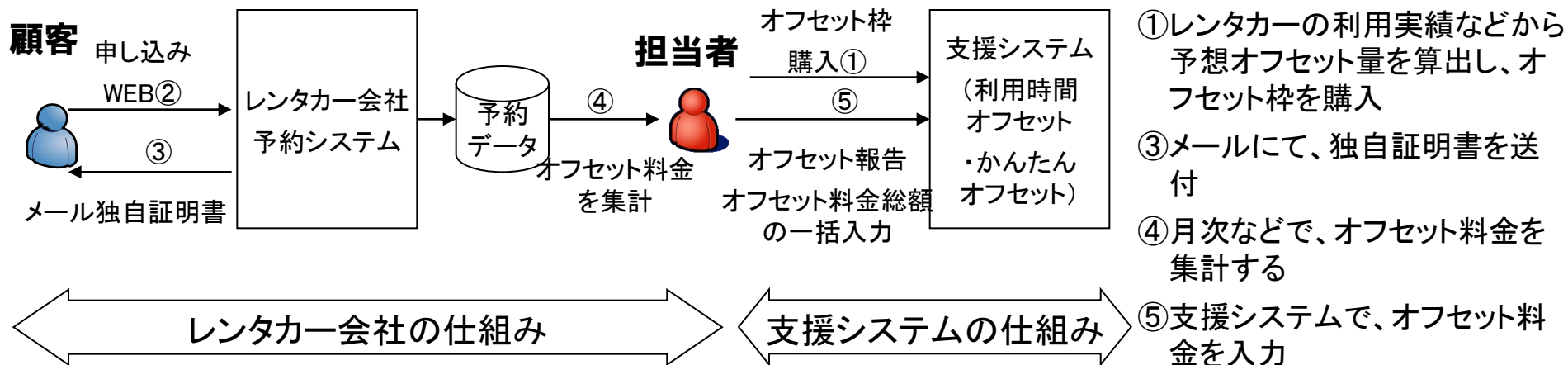
【取り組み概要】

WEBで予約する場合限定で、オフセットも同時購入出来るようなサービスを提供。

特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● WEB予約限定なので、窓口における説明などは不要 ● WEBシステムの改修が必要
狙い	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">マーケティング (新規顧客)</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">マーケティング (囲い込み)</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">CSR</div> </div>
オフセット量 (概算値)	1台1日40km弱走行すると仮定して 10kgCO2前後 (交通・観光カーボンオフセットガイドライン Ver.1.2)
支援システム オフセット方法	利用時間オフセット(算定に利用) かんたんオフセット(報告に利用)

環境に配慮したい意識の高い顧客へ、レンタカー会社としての解決策を提供

仕組み概要



導入に際する留意点 - 効果を上げるために

サービス 内容に関して

- ・ WEB申し込みを促進するため、WEBに限定してオフセットオプションを提供する。
- ・ HP上でクラス・利用時間ごとの標準的排出量を示し、これを反映したオフセット量を独自証明書に記載する。
- ・ オプションのため、オフセット料金は顧客負担となる。
- ・ リポートしていただくため、「証明書何枚集めると割引」など付帯サービスもセットで取り組むとより効果的になる。

プロモーション 方法に関して

- ・ 効果的に認知していただくため、店頭・車内にもチラシなどは用意した方が良い。
- ・ チラシにはオフセットの案内だけでなく、エコドライブ等利用者が取り組める環境活動も記載し、利用者の環境配慮行動を促すことによりさらに印象を深めることができる。
- ・ オフセットオプションにおける環境効果(木何本分など)を明示し、次も使おうと顧客が感じる事が重要である。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ レンタカーの走行により排出するCO2をオフセットする。

算定

- ・ 支援システムの“利用時間オフセット”を利用し、車のタイプ・利用時間別のCO2量算定を実施する。

オフセット量設定

- ・ オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることを基本とする。

料金徴収方法

- ・ オフセット料金は支援システムから既に購入したオフセット枠の単価×上記算定結果で車のタイプ・利用時間別に設定する。
- ・ オフセット料金に端数が生じた場合は、切り上げを行う。
- ・ 上記オフセット料金をWEBにおける申し込み画面で、顧客が申し込んだ車のタイプ・利用時間から自動的に判断し、請求可能にする。これにはシステム改修が必要。
- ・ 決済はレンタカーの利用料金と同時に行う。

情報提供

- ・ 利用者へカーボンオフセットを伝えるためにも、独自証明書は作成した方が望ましい。窓口での業務負担を増やさないためにも、WEB申し込み完了時に、登録メールアドレスなどに証明書を送付する形が望ましい。(システム改修が必要)
- ・ 実際の利用者に取り組み内容を情報提供するためにも、ホームページだけで情報提供するのではなく、車内におけるチラシなどで情報提供することが望ましい。難しい場合は独自証明書にホームページのURLなどを記載しておく。

運営

- ・ オフセット報告は月次などで“かんたんオフセット”にて、オフセット料金総額を入力することで報告する。

<参考>WEBの情報提供例

WEBからお申し込みでカーボンオフセット

■カーボンオフセットとは？


カーボンオフセットとは、自分の温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)することをいいます。

■カーボンオフセットレンタカーとは？

レンタカーの走行によって排出するCO₂をお客さまがカーボンオフセット出来るサービスです。カーボンオフセットレンタカーをご利用いただくことで、地球環境への負荷を少なく、ドライブが楽しめます。CO₂は、当社調べによる利用時間当たり平均走行距離と、各クラスの燃費から、利用時間当たりの燃料消費量を算出し、CO₂排出係数を乗じて算定しています。

■カーボンオフセットに利用している排出権

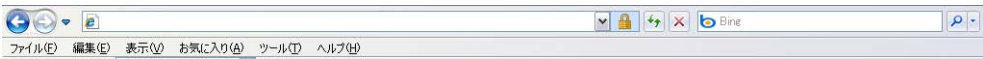
インド風力発電によって創出された国連認証排出権(CER)を利用しています。償却により無効化を実施済みです。



■もっとエコドライブ

アイドリングストップや、急発進、急ブレーキをせず、安全・エコに運転してください。

高級車でオフセット



高級&エコで
いつもと違うドライブしてみませんか？

カーボンオフセットとは...

【オフセット対象】

走行

【取り組み概要】

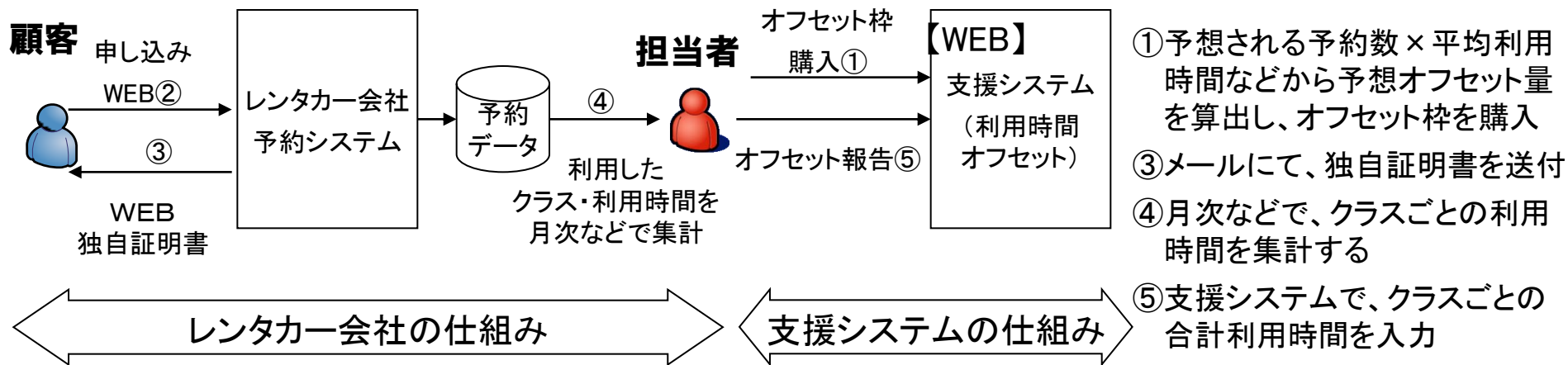
グレードが高いクラスへは、全ての利用に対し、オフセットを付与。グレードの引き上げを狙う。

特徴	● 事業者負担のため、細かい説明や業務などは不要
狙い	<div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">マーケティング (新規顧客)</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">マーケティング (囲い込み)</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">CSR</div> </div>
オフセット量 (概算値)	1台1日40km弱走行すると仮定して 10kgCO2前後 (交通・観光カーボンオフセットガイドライン Ver.1.2)
支援システム オフセット方法	利用時間オフセット(算定・報告に利用)



環境意識が高い富裕層にエコもプラスアルファの付加価値としてアピール

仕組み概要



導入に際する留意点 - 効果を上げるために

サービス内容に関して

- ・ 対象の車種にはオフセットを付与しおき、対象車種利用者にはレンタル申し込み時に独自証明書をメールで提供する。HPやチラシに利用時間ごとの標準的排出量を示し、これを反映したオフセット量を独自証明書に記載する。
- ・ オフセットが付与してあるため、オフセット費用を利用者が負担しているのかレンタカー会社が負担しているのか曖昧になるため、レンタカー会社が負担していることを明記する。また、リピートしていただくため、「証明書何枚集めると割引」など付帯サービスもセットで取り組むとより効果的になる。
- ・ 高級車だけでなく、ハイブリッドカーや、スポーツカーなどに付与することも想定される。

プロモーション方法に関して

- ・ チラシにはオフセットの案内だけでなく、エコドライブ等利用者が取り組める環境活動も記載し、利用者の環境配慮行動を促すことによりさらに印象を深めることができる。
- ・ エコカーの場合はそもそもの排出量が少ないことと併せてPRLし、エコ強化を伝える。
- ・ オフセットにおける環境効果(木何本分など)を明示し、次も使おうと顧客が感じる事が重要である。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ レンタカーの走行により排出するCO2をオフセットする。

算定

- ・ 支援システムの“利用時間オフセット”にて算定を行う。

オフセット量設定

- ・ オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、半分や25%などでも良い。

料金徴収方法

- ・ オフセット料金は徴収しない(事業者で負担する)。

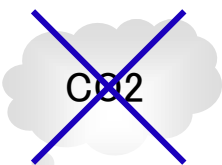
情報提供

- ・ 利用者へカーボンオフセットを伝えるためにも、独自証明書は作成した方が望ましい。窓口での業務負担を増やさないためにも、WEB申し込み完了時に、登録メールアドレスなどに証明書を送付する形が望ましい。(システム改修が必要)。
- ・ 顧客からオフセット料金は徴収しないが、時間当たりのオフセット量などは上記算定結果を用いてWEBに目安表などを作成しておくが良い。
- ・ 実際の利用者に取り組み内容を情報提供するためにも、ホームページだけで情報提供するのではなく、車内におけるチラシなどで情報提供することが望ましい。難しい場合は独自証明書にホームページのURLなどを記載しておく。

運営

- ・ オフセット付与クラスの利用時間を月次などでまとめて支援システムへ報告する。報告する際は、“利用時間オフセット”を利用する。

乗船券オフセット



カーボン
オフセット

オフセット乗船券選択で
オフセット独自証明書を発行

カーボンオフセット証明書	
<small>以下の通り、カーボンオフセットを発生したCO2を、CCOに換算し、CERです。</small>	
2010年 12月 10日	
オフセット対象	船中CO2排出削減
オフセット量	XX Kg-CO2
排出権タイプ	CER
プロジェクト名	インド水力発電プロジェクト 国連登録番号 (0244)
無効化方法	償却

【オフセット対象】

運航

【取り組み概要】

旅客船などの定期船で排出するCO2をオフセットできるオプション付きの乗船券を提供する

特徴

- オプションでオフセットを提供

狙い

マーケティング (新規顧客) マーケティング (囲い込み) CSR

オフセット量
(概算値)

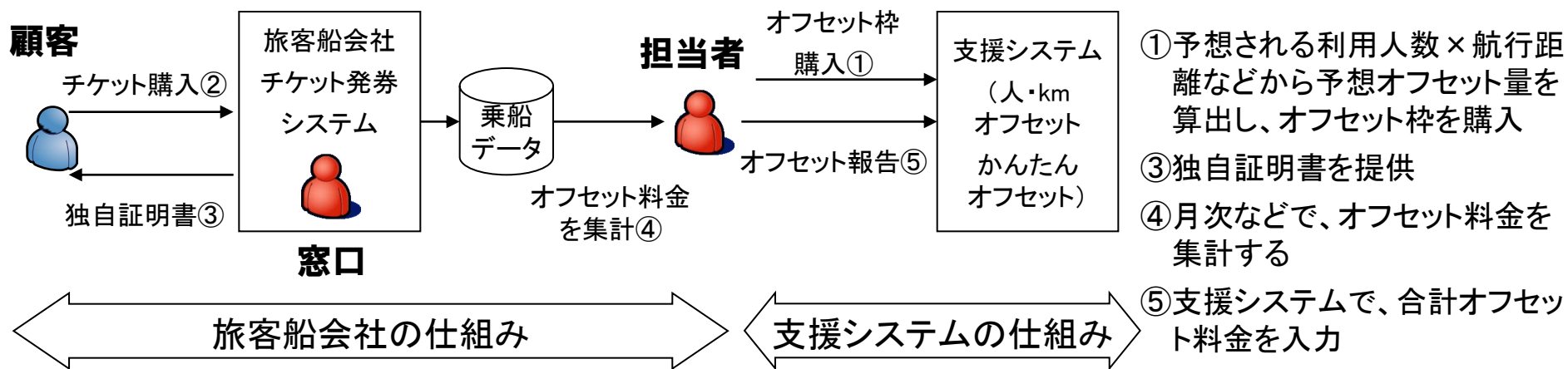
大人1人(体重50kg)を20km航行して、39g-CO2程度(省エネ法トンキロ係数より)

支援システム
オフセット方法

人・kmオフセット(算定に利用)
かんたんオフセット(報告に利用)

環境意識の高い乗客にアピールすることが可能

仕組み概要



導入に際する留意点 - 効果を上げるために

サービス内容に関して

- ・ オフセット済みの乗船券を通常の乗船券とは別途準備し、選択いただいた乗客には独自証明書を提供する(チケットなどに記載しても良い)。
- ・ キャンペーンなどで旅客船会社負担でオフセットを行う形も考えられる。
- ・ 船室の等級をアップグレードした場合は旅客船会社でオフセットを負担するなどのパターンも考えられる。

プロモーション方法に関して

- ・ 効果的に認知していただくため、船内におけるチラシなどは用意した方が良い。
- ・ オフセットにおける環境効果(木何本分など)を明示し、次も使おうと顧客が感じる事が重要である。
- ・ チケットの半券等にもオフセット済みであることを明記し、保存できるようにする形も考えられる。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ 旅客船運航により排出するCO2をオフセットする。

算定

- ・ 支援システムの“人・kmオフセット”にて算定を行う。“航行距離”については、航路の距離を入力し、“人数”は1人を入力する。

オフセット量設定

- ・ オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、半分や25%などでも良い。

料金徴収方法

- ・ オフセット料金を顧客が負担することを基本とするが、半分を旅客船会社が負担するなどのパターンも考えられる。
- ・ オフセット料金は支援システムから既に購入したオフセット枠の単価×上記算定結果で設定する。
- ・ 通常のチケットに、上記オフセット料金を上乗せし、オフセット付乗車券の売価を設定する。
- ・ オフセット料金に端数が生じた場合は切り上げを行う(かんたんオフセットにて全てのオフセット料金でオフセットを行う)。

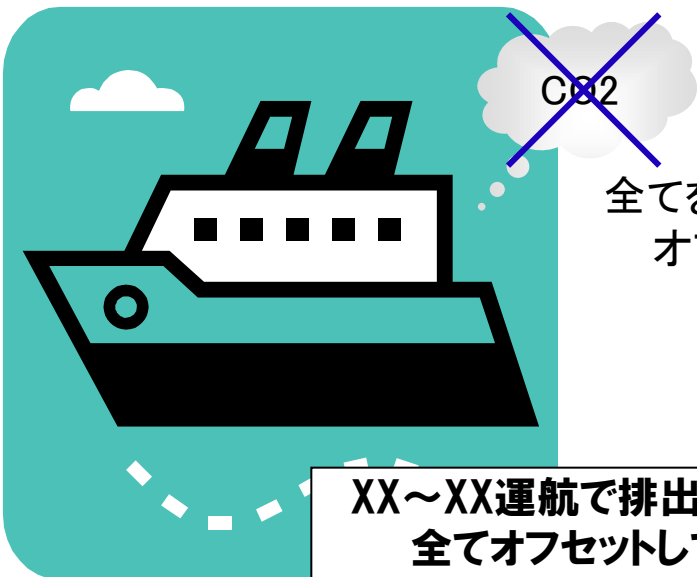
情報提供

- ・ 従業員への周知教育が必要。
- ・ チケット購入窓口や船内にパネルやポスターを設置する。
- ・ パンフレット・チラシ等を作成し購入時に手渡す。
- ・ チケットへの記載を行う(別途オフセット付乗車券を作成することが必要)、チケットへの記載が難しい場合は、チケット購入時に独自証明書を提供する。

運営

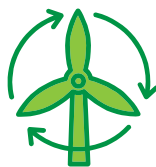
- ・ オフセット報告は月次などで“かんたんオフセット”にて、オフセット料金総額を入力することで報告する。

カーボンニュートラル遊覧船



全てをカーボン
オフセット

XX～XX運航で排出するCO2は
全てオフセットしています



これからも環境に
やさしい船を心がけていきます

【オフセット対象】

運航

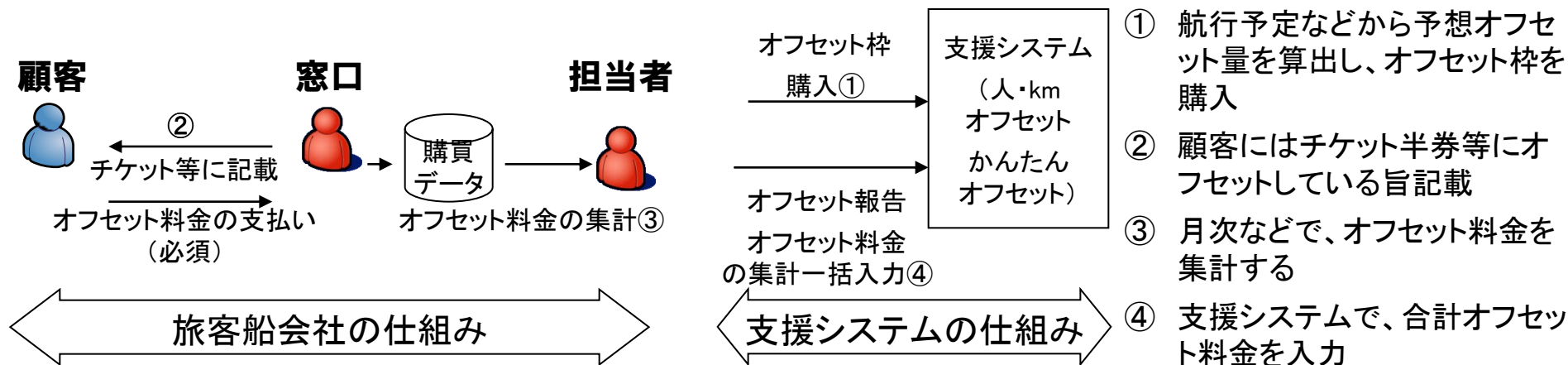
【取り組み概要】

遊覧船で排出するCO2を全てオフセットする代わりに、オフセット料金を運賃に上乗せする。

特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用客全員についてオフセットを実施する ● 船に、環境の付加価値をプラス
狙い	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">マーケティング (新規顧客)</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">マーケティング (囲い込み)</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">CSR</div> </div>
オフセット量 (概算値)	大人1人(体重50kg)を20km航行して、39g-CO2程度(省エネ法トンキロ係数より)
支援システム オフセット方法	人・kmオフセット(算定へ利用) かんたんオフセット(報告へ利用)

必ずしも生活に必要な無い航行に関しオフセットすることでサービスを訴求

仕組み概要



導入に際する留意点 - 効果を上げるために

<p>サービス 内容に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> 顧客に取り組み内容を理解いただくため、チケットの半券等に取り組み内容は記載したほうがよい。
<p>プロモーション 方法に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> 効果的に認知していただくため、船内におけるチラシなどは用意した方がよい。 エコに観光を楽しめるコンセプトでプロモーションを行う。 ブランド力向上のための取り組みであることから、オフセット以外の環境への取り組み等も併せてPRすることが望ましい。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ 旅客船運航により排出するCO2をオフセットする。

算定

- ・ 支援システムの“人・kmオフセット”にて、“航行距離”別に、CO2排出量を確認する。
(人数欄に1人と入力し、1人当たり排出量[kgCO2/人]を算定)

オフセット量設定

- ・ オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、半分や25%などでも良い。

料金徴収方法

- ・ オフセット料金は、通常運賃に上乗せすることで徴収する。
- ・ オフセット料金は支援システムから既に購入したオフセット枠の単価 × 上記算定結果で設定する。
- ・ オフセット料金に端数が生じた場合は、切り上げを行う。

情報提供

- ・ HP、CSR報告書等だけでなく、船内にパネルやポスターを設置したり、チケットへの記載を行うことで積極的に情報提供を行う。

運営

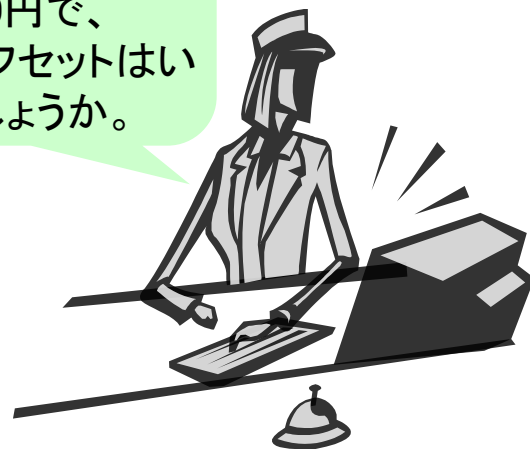
- ・ 業務を効率化するために、オフセット報告は月次などでまとめて一括で報告することが望ましい。
- ・ オフセット報告は月次などで“かんたんオフセット”にて、オフセット料金総額(上乗せ分の料金総額)を入力することで報告する。

カーボンオフセット宿泊

チェックアウト・チェックイン時

今回のご宿泊は、
1万円です。

追加50円で、
カーボンオフセットはい
かがでしょうか。



【オフセット対象】

宿泊

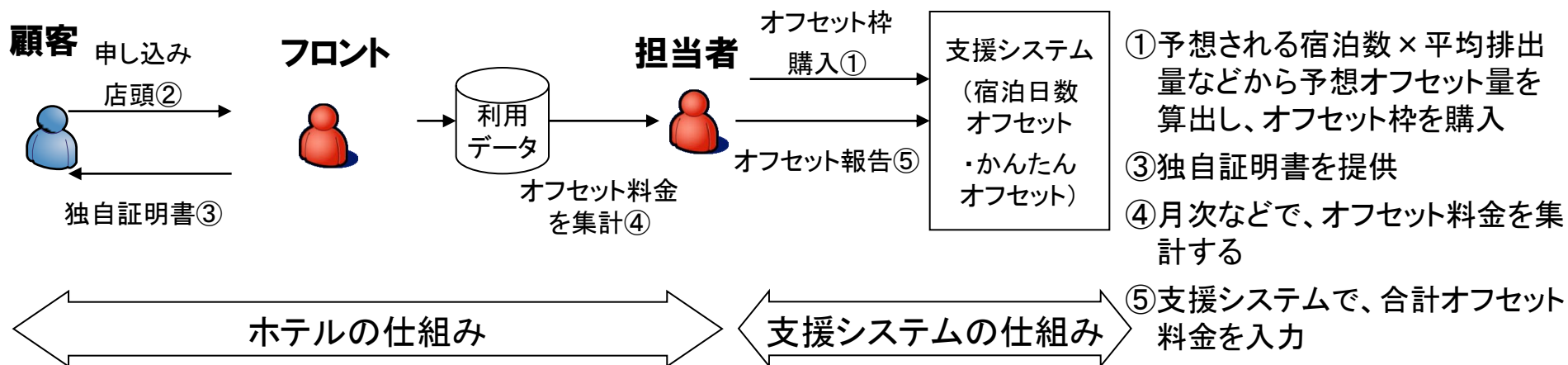
【取り組み概要】

チェックアウトやチェックイン時に、カーボンオフセットサービスも提供。受付のPCからシステムへログインし、サービスを提供。

特徴	● その場でCO2を計算し、オフセットを提供
狙い	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">マーケティング (新規顧客)</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">マーケティング (囲い込み)</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">CSR</div> </div>
オフセット量 (概算値)	1泊1部屋7kg前後 (スーパーホテル事例より)
支援システム オフセット方法	宿泊日数オフセット(算定に利用) かんたんオフセット(報告に利用)

チェックイン、アウト時にお客さまへ一声掛けることで、ホテルとしての取り組みを漏れなくアピール

仕組み概要



導入に際する留意点 - 効果を上げるために

<p>サービス 内容に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ フロントで情報提供することから予め証明書等を準備しておきスムーズに利用者に手渡すことができるようにする。 ・ 客室のアップグレード等の条件をからめてホテル負担でオフセットする形も考えられる。 ・ 連続利用によりホテル負担でオフセットをプレゼントするなどの形も考えられる。
<p>プロモーション 方法に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ フロントでオフセットの案内を行うことから、ホテル利用による排出の説明や利用者が取り組める排出削減行動などのチラシをフロント、客室に準備することが望ましい。 ・ フロントにオフセットに用いる排出権が創出されるプロジェクトのパネルなどを設置し、顧客の実感を高める。 ・ フロントにて独自証明書を手渡す。そこにはオフセットのことだけでなく、ホテルのその他の環境への取り組みなども記載しておいた方がよい。 ・ オフセットにおける環境効果(木何本分など)を明示し、次も使おうと顧客が感じる事が重要である。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ 宿泊により排出するCO2をオフセットする。
- ・ 共用部分は対象とせず、客室部分のみを対象とする。

算定

- ・ 支援システムの“宿泊日数オフセット”を用いて、1泊あたりCO2の算定を実施する。
- ・ 複数人が一部屋に泊まった場合と一人が一部屋に泊まった場合のCO2量は同様となる。

オフセット量設定

- ・ オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることを基本とする。

料金徴収方法

- ・ オフセット料金は支援システムから既に購入したオフセット枠の単価×上記算定結果で設定する。
- ・ オフセット料金に端数が生じた場合は、切り上げを行う。
- ・ フロントでチェックアウト時に宿泊料金と共に、現金等により決済する。

情報提供

- ・ 従業員への周知教育が必要である。
- ・ フロントにパネルやチラシによる情報提供を行うことで顧客の理解をスムーズにする。
- ・ 独自証明書はフロントに準備しておき、証明書上にホテルの環境配慮行動等も記載する。

運営

- ・ 業務を効率化するために、オフセット報告は月次などでまとめて一括で報告することが望ましい。
- ・ 連泊した場合などは証明書を複数枚提供する運用にしたほうが、スムーズである。
- ・ オフセット報告は月次などで“かんたんオフセット”にて、オフセット料金総額を入力することで報告する。

アメニティ不要でオフセット

アメニティ
不要
シーツタオル交換
不要

チェックアウト時に
オフセット証明書をプレゼント

カーボンオフセット証明書	
※以下の通り、カーボンオフセットを実施しましたこと、ここに証明いたします。	
2010年 12月 10日	
オフセット対象	宿泊に伴い排出されるCO2
オフセット量	XX Kg-CO2
排出権タイプ	CER
プロジェクト名	インド水力発電プロジェクト 国連登録番号(0244)
無効化方法	償却

【オフセット対象】

宿泊

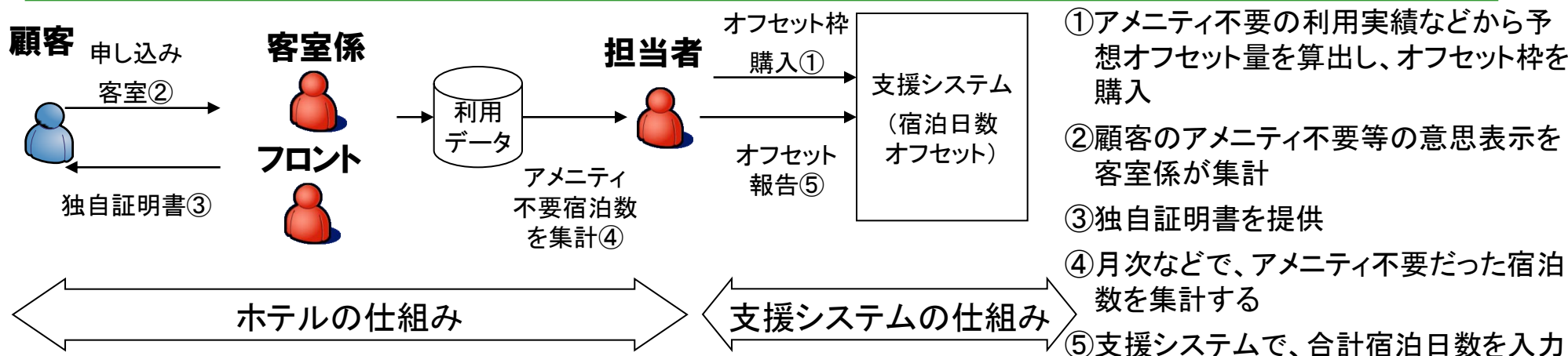
【取り組み概要】

アメニティ不要や、シーツ取替え不要など、お客さま側が努力した場合に、ホテルとしての気持ちを表明するためオフセットを提供し、より環境に優しく。

特徴	● お客さまと共同で環境に配慮していく取り組み
狙い	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-right: 5px;">マーケティング (新規顧客)</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px; margin-right: 5px; color: green;">マーケティング (囲い込み)</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-left: 20px;">CSR</div> </div>
オフセット量 (概算値)	1泊1部屋7kg前後 (スーパーホテル事例より)
支援システム オフセット方法	宿泊日数オフセット(算定・報告に利用)

お客さまと一緒に環境に取り組んでいくという姿勢をアピール

仕組み概要



導入に際する留意点 - 効果を上げるために

サービス 内容に関して

- ・ 顧客のアメニティ不要の協力に応え、ホテルの負担でオフセットを提供する。
- ・ 独自証明書の提供は任意だが、顧客に取り組み内容を理解いただくため、発行したほうが良い。
- ・ リpeatしていただくため、「証明書何枚集めると割引」など付帯サービスもセットで取り組むとより効果的になる。
- ・ シーツ交換なしでオフセットなど、顧客が任意で努力した場合など取り組み方は複数ある。

プロモーション 方法に関して

- ・ チェックイン時にフロントでアメニティを断っていただいた場合、オフセットする旨を伝える。
- ・ 客室のプレート・チラシ等でアメニティ不要でオフセットすることを解説する。
- ・ フロントでオフセットに用いる排出権が創出されるプロジェクトのパネルなどを設置し、顧客の実感を高める。
- ・ オフセットにおける環境効果(木何本分など)を明示し、次も使おうと顧客が感じる事が重要である。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ 宿泊により排出するCO2をオフセットする。
- ・ 共用部分の対象とせず、客室部分のみを対象とする。

算定

- ・ 支援システムの“宿泊日数オフセット”を用いて、1泊あたりCO2の算定を実施する。
- ・ 複数人が一部屋に泊まった場合と一人が一部屋に泊まった場合のCO2量は同様となる。

オフセット量設定

- ・ オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、半分や25%などでも良い。

料金徴収方法

- ・ 顧客が任意でアメニティ無しを選んだ場合に、お礼として事業者がオフセット料金を負担するため、オフセット料金は徴収しない(事業者で負担する)。

情報提供

- ・ 従業員への周知教育が必要である。
- ・ 客室のアメニティ不要を示すプレートにオフセットされる旨の情報を記載する。
- ・ フロントでパネルやチラシによる情報提供を行うことで顧客の理解をスムーズにする。
- ・ 独自証明書はフロントに準備しておき、証明書上にホテルの環境配慮行動等も記載する。

運営

- ・ アメニティを断った顧客に対し、独自証明書を渡す場合は、チェックアウト時などに独自証明書を渡し忘れないように、業務を検討する必要がある。
- ・ 業務を効率化するために、オフセット報告は月次などでまとめて一括で報告することが望ましい。
- ・ 連泊した場合は証明書を複数枚提供する運用にしたほうが、スムーズである。
- ・ 報告は、“宿泊日数オフセット”にて、アメニティ不要とした総宿泊数を一括で入力し、報告を行う。

エコツアーパッケージ



【オフセット対象】

移動

宿泊

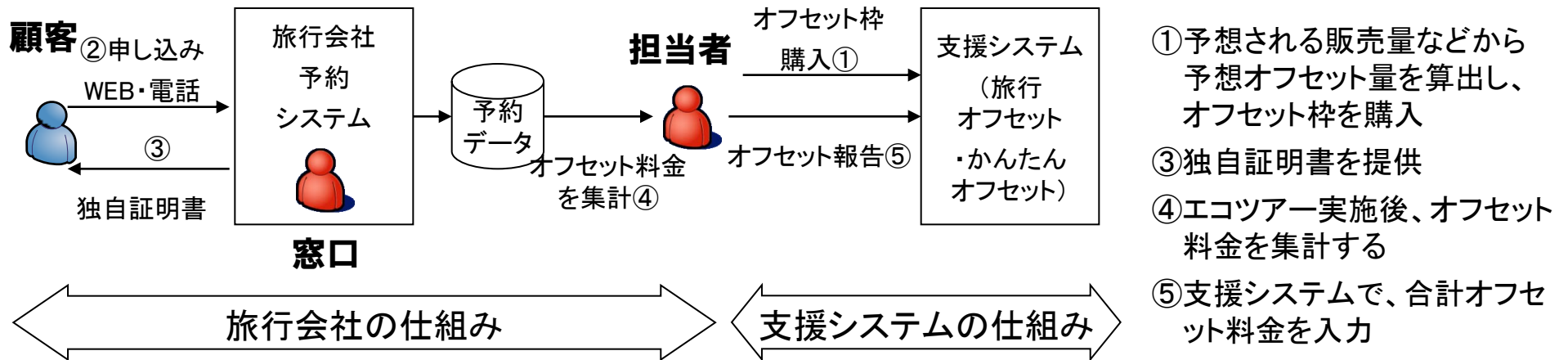
【取り組み概要】

オーガニックレストランでの食事や自然をまわるエコツアーを企画。ツアー中の移動や宿泊で発生するCO2をオフセットし、オフセット料金はパッケージ価格へ組み込む。

特徴	● 企画全体のエコ度を上げる1つのツールとして効果的に利用
狙い	マーケティング (新規顧客) マーケティング (囲い込み) CSR
オフセット量 (概算値)	東京～京都・奈良3日旅行50.9kg (近畿日本ツーリスト WEBページ)
支援システム オフセット方法	旅行オフセット(算定に利用) かんたんオフセット(報告に利用)

企画の幅を広げる1つのツールとしてオフセットを利用

仕組み概要



導入に際する留意点 - 効果を上げるために

サービス内容に関して

- ・ エコツアーや世界遺産訪問ツアーなど、環境を強く意識するツアーのパッケージに組み込み相乗効果を期待する。
- ・ オフセット費用はツアーの料金に組み込まれているが、顧客負担として示すか、事業者負担として示すかは場合により設定可能。
- ・ ツアーの訪問先に排出権を創出しているプロジェクトの見学等を盛り込むなど顧客が実感できるオフセットを実施。

プロモーション方法に関して

- ・ 環境意識の高い顧客に対し、カーボンオフセットの仕組みや、旅行を通じて環境負荷を少なくしていることを詳しく解説することで、顧客満足度を高める。
- ・ チラシやWEBで情報提供を行う。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ 旅行に係る以下の排出をオフセットする。選択が可能。
- ① 交通機関の利用に伴う排出分のみ。
- ② 宿泊施設の利用に伴う排出分のみ。
- ③ 交通機関及び宿泊施設の利用に伴う排出分。

算定

- ・ 支援システムの“旅行オフセット”を用いて算定を実施する。

オフセット量設定

- ・ オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、半分や25%などでも良い。

料金徴収方法

- ・ オフセット料金が上乗せされたツアー料金を設定し、現金等で決済する。
- ・ 半分以上を旅行会社が負担するなどのパターンも考えられる。
- ・ オフセット料金は支援システムから既に購入したオフセット枠の単価 × 上記算定結果で設定する。
- ・ オフセット料金自体はパッケージ代に組み込むため、端数処理などの問題は生じない。

情報提供

- ・ 添乗員等従業員への周知教育が必要。
- ・ パンフレット・チラシ等を作成し購入時に手渡す。
- ・ WEB証明書をメールで個人宛に送る場合は、下記運営の“かんたんオフセット”によるオフセット報告を個人別の実施する必要がある。

運営

- ・ 旅行によりCO2排出量が異なるため、パッケージツアー終了後に個別(ツアーの企画毎)にオフセット報告をする必要がある。
- ・ オフセット報告は“かんたんオフセット”にて、オフセット料金総額を入力することで報告する。

<参考> 独自証明書の作成例

カーボンオフセット証明書

〇〇ツアー 参加者様

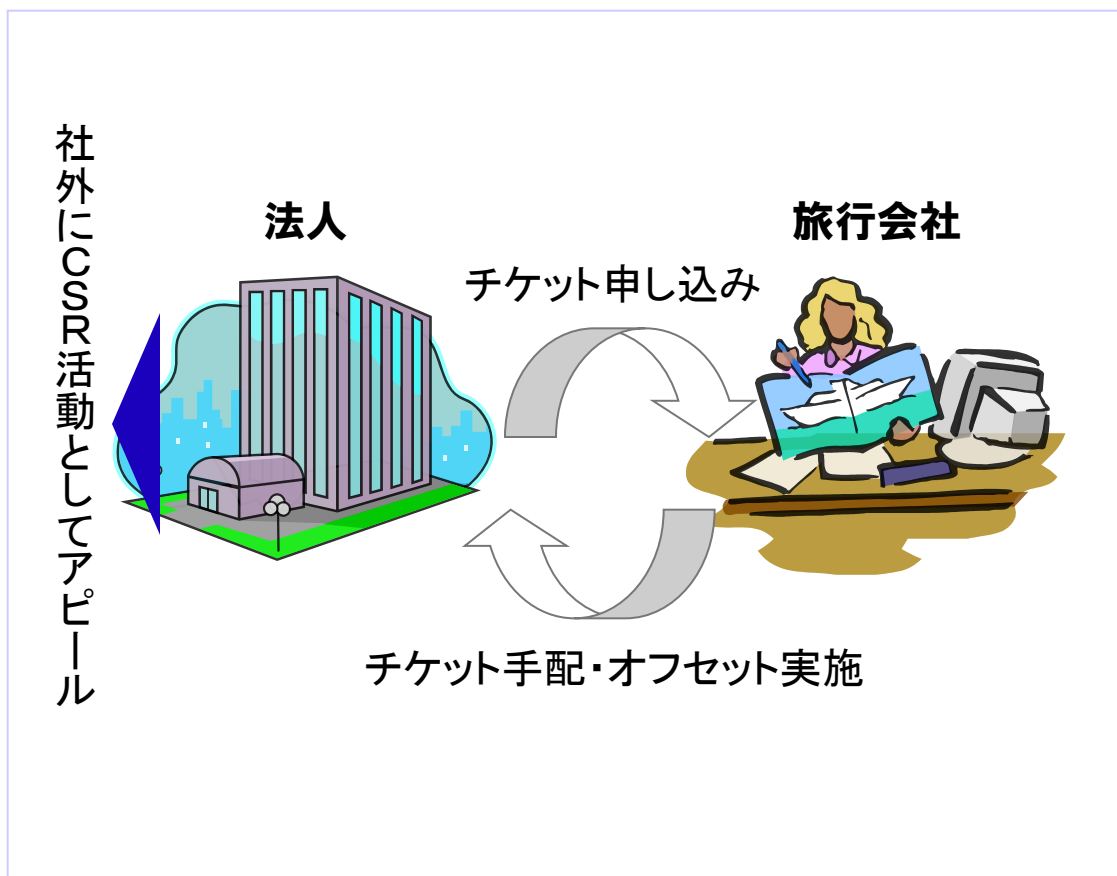
以下の通り、カーボンオフセットを実施したことを、ここに証明いたします。

2010年 12月 10日

オフセット対象	XXツアーの ホテル宿泊に伴い排出するCO2 フライトに伴い排出するCO2
オフセット量	50.9 Kg-CO2
排出権タイプ	CER
プロジェクト名	インド水力発電プロジェクト 国連登録番号(0244)
無効化方法	償却

XX旅行株式会社
<http://www.XX.co.jp>

法人出張オフセット



【オフセット対象】

移動

宿泊

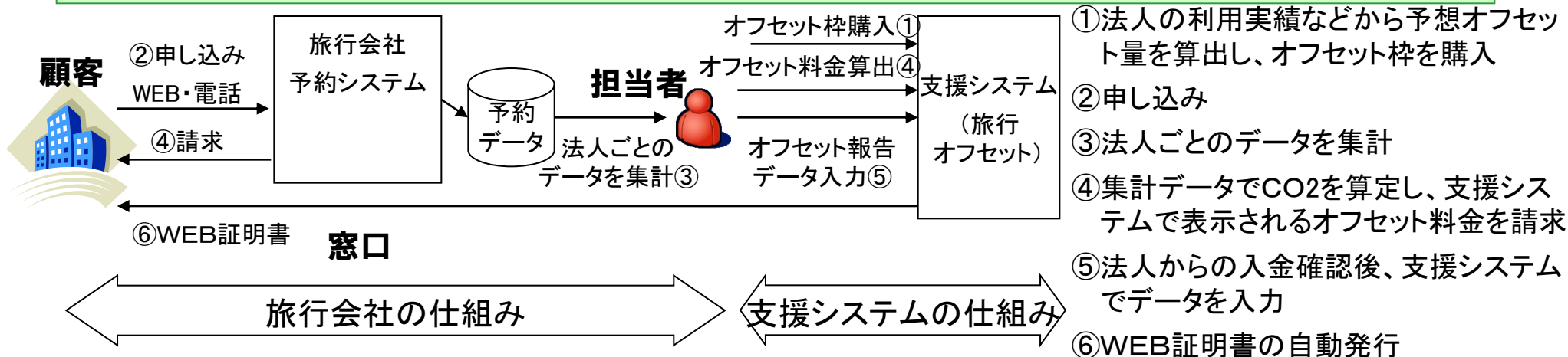
【取り組み概要】

出張手配の一括契約などを結んでいる法人が希望すれば、旅行会社側で該当する法人の出張で出るCO2をオフセット。

特徴	● 法人との既存の一括契約を利用して新たな付加価値を提供
狙い	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">マーケティング (新規顧客)</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">マーケティング (囲い込み)</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">CSR</div> </div>
オフセット量 (概算値)	東京～京都・奈良3日旅行50.9kg (近畿日本ツーリスト WEBページ)
支援システム オフセット方法	旅行オフセット(算定・報告に利用)

旅行会社として、顧客(法人)のCSRアピールを手助け

仕組み概要



- ①法人の利用実績などから予想オフセット量を算出し、オフセット枠を購入
- ②申し込み
- ③法人ごとのデータを集計
- ④集計データでCO2を算定し、支援システムで表示されるオフセット料金を請求
- ⑤法人からの入金確認後、支援システムでデータを入力
- ⑥WEB証明書の自動発行

導入に際する留意点 - 効果を上げるために

サービス内容に関して

- ・ 顧客企業のCSRのPRになるよう証明書の宛名を顧客企業名にするなど工夫する。
- ・ 月次のオフセット量をまとめて証明書に記載することにより顧客がPRしやすいように工夫する(支援システムで発行される証明書を利用)。
- ・ 個別の出張に係る排出量を顧客企業に報告するなど、オフセットに付帯するサービスも提供する。
- ・ 算定、運營業務を簡略化するため、フライトに限るなども有効。

プロモーション方法に関して

- ・ 顧客企業の購買担当者やCSR担当者に説明する資料を作成。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

・出張に係る以下の排出をオフセットする(下記から選ぶことも可能。特にフライトにおけるオフセットは算定が簡易)。

- ① 交通機関の利用に伴う排出分のみ。
- ② 宿泊施設の利用に伴う排出分のみ。
- ③ 交通機関及び宿泊施設の利用に伴う排出分。

算定

・支援システムの“旅行オフセット”を用いて算定を実施する。

オフセット量設定

・オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、半分や25%などでも良い。

料金徴収方法

- ・月次など法人と取り決めた期間において、オフセット算定を実施し、既に購入したオフセット枠の単価を乗じることで法人へ請求を実施(請求は支援システム外)。
- ・法人へは予めオフセット枠の単価を報告しておく(CO2量は実績による)。

情報提供

- ・自社の情報提供は支援システムの雛型に則る。
- ・法人へは支援システムの証明書を利用する。そのために、オフセット報告は法人別に報告する。

運営

- ・業務を効率化するために、オフセット報告は月次などでまとめて一括で報告することが望ましい。
- ・オフセット報告は、支援システムの“旅行オフセット”を用いる。

団体旅行オフセット



社員研修旅行

修学旅行

学生サークル旅行

ニーズに応じて旅行のオフセットを実施



【オフセット対象】

移動

宿泊

【取り組み概要】

社員旅行や研修などの団体旅行による移動や宿泊で発生するCO2をオフセットできるオプションを提供。

特徴

- すでに国内でも普及している取り組み

狙い

マーケティング
(新規顧客)マーケティング
(囲い込み)

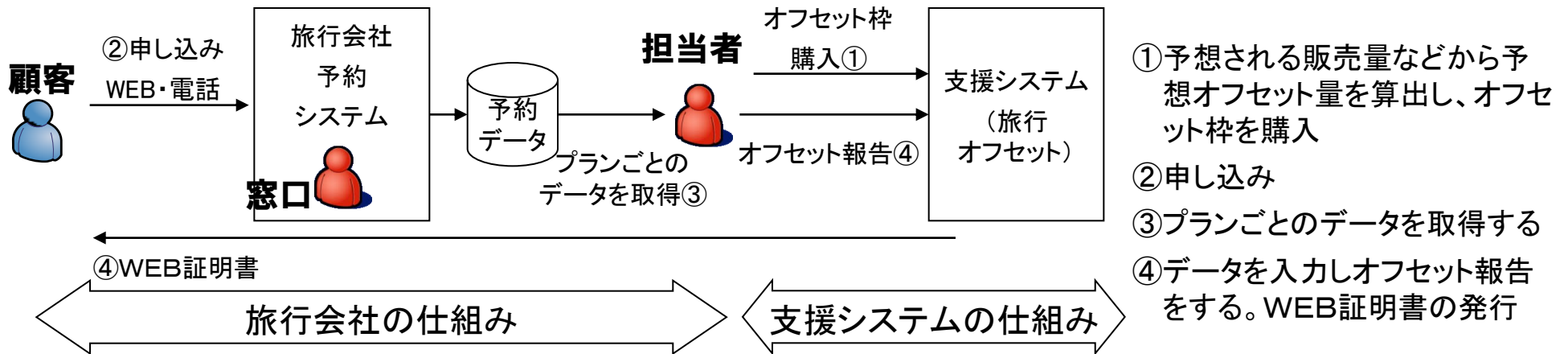
CSR

オフセット量
(概算値)東京～京都・奈良3日旅行50.9kg
(近畿日本ツーリスト WEBページ)支援システム
オフセット方法

旅行オフセット(算定・報告に利用)

環境意識の高い団体に、カーボンオフセットという取り組みを提供

仕組み概要



導入に際する留意点 - 効果を上げるために

サービス内容に関して

- ・ 団体旅行見積もり作成時に同時にCO2排出量を示し、旅行で出てしまうCO2量を明示することで、顧客団体の環境配慮意識に訴求する。
- ・ 支援システムの証明書を利用して、顧客団体へ個別証明書を発行する。
- ・ 顧客団体のCSRのPRになるよう証明書の宛名を顧客団体名にするなど工夫する。

プロモーション方法に関して

- ・ 温暖化による観光地への影響などをHPで情報提供し、旅行者の環境意識に訴求する。
- ・ 独自証明書ではなく、ノベルティなどの記念品を提供する形も考えられる。
- ・ オフセットにおける環境効果(木何本分など)を明示し、次も使おうと顧客が感じる事が重要である。

導入に際する留意点 -信頼性・業務運営に関して

オフセットの対象範囲

- ・ 旅行に係る以下の排出をオフセットする(選択は可能)。
 - ① 交通機関の利用に伴う排出分のみ。
 - ② 宿泊施設の利用に伴う排出分のみ。
 - ③ 交通機関及び宿泊施設の利用に伴う排出分。

算定

- ・ 支援システムの“旅行オフセット”を用いて算定を行う。

オフセット量設定

- ・ オフセットの対象範囲全てのCO2をオフセットすることが理想だが、半分や25%などでも良い。

料金徴収方法

- ・ お試し計算により、旅行見積時にCO2量を算定し、既に購入しているオフセット枠の単価を乗じることでオフセット料金を個々の団体旅行別に設定する。
- ・ 半分以上を旅行会社が負担するなどのパターンも考えられる。
- ・ オフセット料金の請求は、団体旅行代金の請求と同時に実施する。

情報提供

- ・ 団体旅行オフセットサービス販売時に、排出権やオフセット手法などの明確な説明が必要。
- ・ 修学旅行や社員研修旅行であれば「しおり」などに掲載する文言を提供する。

運営

- ・ WEBにおける証明書を発行するためにも、個々の団体旅行別にオフセットを報告する形になる。
- ・ WEB証明書をメールで個人宛に送る場合は、“かんたんオフセット”によるオフセット報告を利用し、また報告の単位は、個人別に実施する必要がある。